１２月２８日（金）曇・　度

返信・引用
編集済

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 27 日(金)06 時 36 分 58 秒

今年も

お世話になりました。いろいろありましたが、過ぎたことは終わったことです。
全体的には良い年だったと思います。来年も良い年にしたいですね。

明日から４名＋１名（車サポート）で甲斐駒です。戸台～北沢峠～甲斐駒～七条小屋～竹宇の縦走です。
今年の日記は今日でお終いです。２０１４年もよろしくお願い致します。
ありがとうございました。

１２月２７日（木）晴・　度

返信・引用
編集済

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 26 日(木)05 時 38 分 20 秒

当会は

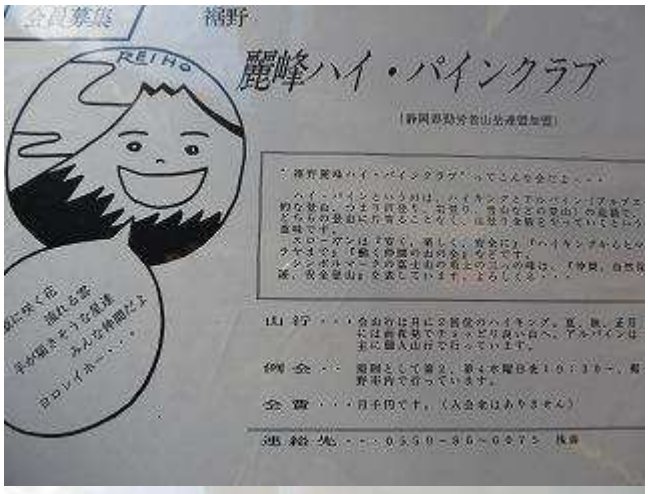
来年２月で会創立２０年になる。
１９９４年２月１６日、裾野市民体育館で１６名を集め
発足準備会を開催。

初山行は２月２７日、蒲原・大丸山、大平山で１６名が
参加して行われた。

２０年は長い時間だった。
多くの仲間と数々の山に上り、歓び・感動を共にした。

２０年は一人では歩んでこれなかっただろう。

多くの仲間に感謝しなければ・・・。



１２月２６日（水）晴・ー２度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 24 日(火)16 時 08 分 10 秒

編集済

物事の

判断を「善意的」にするか「悪意的」ですするかで状況は随分変わって来る。

今日２４日は、来年５月以降の長泉町わくわく塾講座開講の申し込み締切だった。
町は合理化で来期講座を文化系・スポーツ系に分け、運動系は別のセクションで取り扱うという。

私が開講している、富士山一周ウオーキングとさわやかハイキングは、スポーツ系だから、わくわく塾でなくても、それはそれでいい。

問題は巡礼で、当初町は「巡礼はスポーツ」と決めつけ、わくわく塾から排除しようとした。巡礼がスポーツなら、四国お遍路・比叡山千日回峰・果ては三島大社の初詣もスポーツになる。

そもそも、６０歳以上の女性が多く、疲れればバスに乗り、午後は歩かない方もいる。それがスポーツかと言いたくなる。要するに何も分かっていない。

窓口の生涯学習のＯ課長は、では「スポーツの定義は何ですか？」の問いに、明確な返答が出来なかった。

「スポーツとは？」簡単に言えば、運動を通じて心身を鍛えることである。そんな簡単なことを即答出来ない輩が町を仕切っている。

まあ、その後いろいろあり、スポーツ論は町も考えを変えたと思いきや、今日締め切りの席で、今度は何と「政教分離」を言い出した。

御存じのように、「政教分離は」簡単に言えば政治に置いて、宗教的偏向がないようにとの考えである。確かに三島市の広報掲載要件も政治的なモノは掲載出来ないようになっている。

巡礼・お遍路は、江戸時代からある庶民のささやかな娯楽である。特に昔は女性達のもので、何かと抑圧されていた女性の数少ない開放の場であった。歴史的にそれが幕府転覆に繋がるハズはなかった。

たかがサークルで１５・６名が巡礼を行って町の行政に偏向を及ぶす程の影響があるだろうか？。開いた口が塞がらないとはこのことである。

何が何でも「気に入らないモノ（ヤツ）」を排除したいが、アリアリと見える。結局、もう面倒になり巡礼開講申請は止めた。

長泉町はもう少しマシな町と思っていました。最近の国の動向もしかりですが、根底に「悪意」がアリアリと存在する訳です。

この日記は、２４日に書きました。

１２月２４日（火）晴・　度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 24 日(火)07 時 00 分 56 秒　　編集済

先日は

旧須山登山道を上った。
ご存じのように、須山登山道の起点は、須山集落西の須山浅間神社。

そこから、忠ちゃん牧場を通過し、弁当場水源地に至り水ヶ塚に到着。ここから須山登山道は二つに分かれる。

真っ直ぐ上って宝永第一火口入り口に向かうルートと、右に折れて、須山御胎内に上るルート。後者はその後、宝永山東下で御殿場ルートに合流する。

で、気になったのが、写真にある須山御胎内が旧須山登山道の一合目だった点。
須山浅間神社標高は約６２０ｍ。御胎内は約１４５０ｍ。標高差で約８３０ｍ。随分あるものだ。

ちなみに御殿場口一合目はハッキリしない。現在の新五合目が旧二合目？で標高は約１４５０ｍ。偶然だが御胎内と同じ標高。

御殿場口の一合目は、標高約１０００ｍの馬返し辺りだっただろうか？調べて置きます。
いずれにしても、旧須山登山口の一合目は遠いですね。

１２月２３日（月）晴・　度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 23 日(月)07 時 01 分 35 秒

編集済

昨日は

富士山・宝永山２３５２ｍでした。天気は無風・快晴。参加は７名。

赤塚登山口上の須山胎内登山道から７：３０出発。雪は先日の大雪でタップリ。男女２名が先行。途中で追い抜く。

幕岩から三辻に至る。ラッセルが中々キツイ。ここから水ヶ塚登山道にトラバース。ここのラッセルはバッチリ。

ゼイゼイハーハーで２３５２ｍ峰着。寒いので御殿庭目指し直ぐ下山。御殿庭肩で遅い昼

食。ビアが美味かった。

ここから往路をかすめ三辻着。往路を戻り登山口着１５：３０だった。冬山訓練としてはイイ山でした。

１２月２１日（土）晴・３度　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 21 日(土)08 時 45 分 51 秒　編集済

今朝の

富士山です。
明日は富士山ですが、雪はバッチリですね。
楽しめそうです。

と、同時に今年の年末年始の雪山は厳しそうです。
年末は甲斐駒を予定です。

写真は家の近くから富士山。

１２月２０日（金）曇・６度　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 20 日(金)08 時 22 分 0 秒　編集済

このところ

サークルの忘年会が多い。

忘年会といっても、居酒屋で宴会を張る訳ではない。

おおむね、半日で行動を終了し、温泉に入って昼食を
兼ねて行う程度だ。

ただ普段、昼食は持参するが、この時だけは外に頼む。
最近は「スーパーあおき」の惣菜を注文する。写真の
上がそれで１０００ー。

かなりボリュームはあって食べきれない。結局、残り
は持ち帰り翌日いただく訳です。

ちなみに下は会員さんが作った、柚子入りイモお菓子。
キレイで美味しかったです。

１２月１９日（木）曇・　度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 19 日(木)08 時 08 分 24 秒

編集済

昨日の

富士山ウオーキングの帰り、十里木は１５ｃｍくらいの積雪に事故続出で大渋滞。

バスも危険な状態だったので、越前岳登山口でチエーンを巻いた。

なおも進んで行くと、大型トラックが横になったり、BMW が突っ込んでいたり、軽が側溝に嵌ったり、大混乱。

しかし、片側が何とか通行できるので、巧みに誘導し何とかギリギリ帰って来ました。恐らく昨夜は山で一夜を過ごしたドライバーは多かったことだしょう。

原因はあの大雪でチエーンを持たずに山に来ること。どんな性能のイイ車でも雪には弱い。３６５日、いや３６６日チエーンは持参するべき。

甘いドラ―バーが多いね～。

12 月１８日（水）　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 18 日(水)04 時 56 分 57 秒　　編集済

仲間が

署名本を蒐集している。
本は署名があると、その価値は一層上がるそうです。
最初の槇 有恒（まき ゆうこう、「ありつね」とも）は、

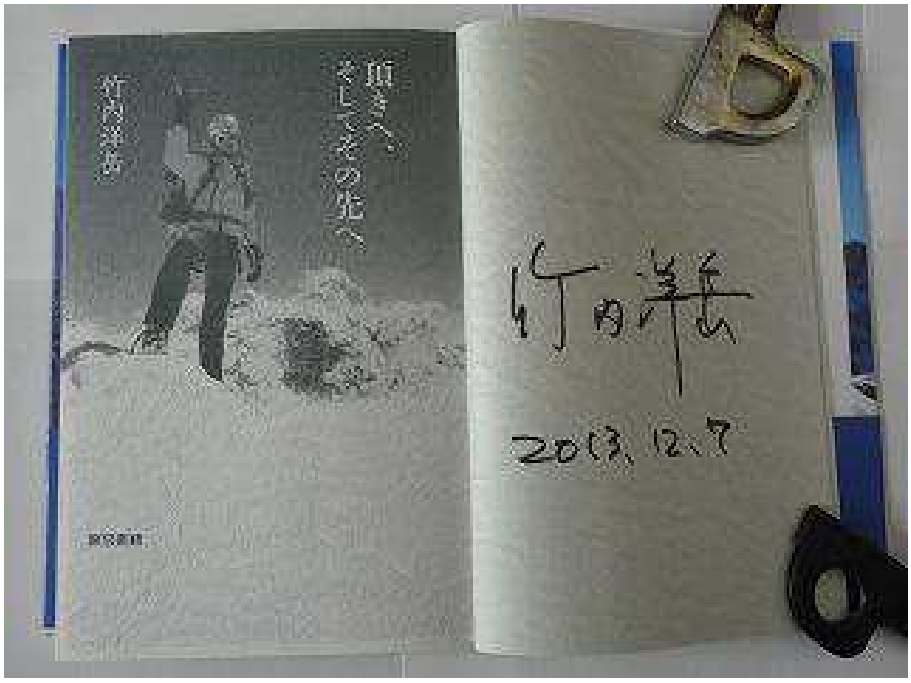
・・・・槇さんの「私の山旅」は岩波新書です。これを
ハードカバーにした特装本です。丸い印で「特装本全三
十五冊の内」と押してあって「第二八号」となっています。
槇さんと親しい３５人の人たちが作らせた物です。
１冊いくらだったんでしょうね？
在京の好事家たちは優雅なことをしていますね・・・・
（仲間談）

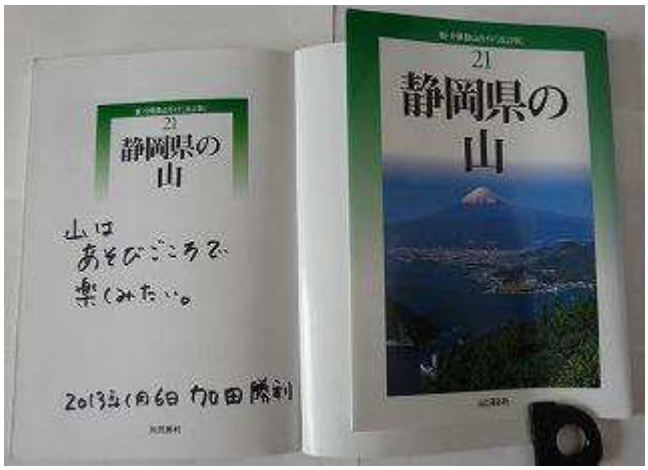
加田さんは、近くにおられるから、早いうちに頂いた

ほうがイイかもですね。

私もそれらしきものは２冊でしています。「伊豆の里山５０山」は、３００冊作って、現在手元に１冊しかありません。
２～３年経っても注文があります。凄い拘りですね。

今日は、１２月度・富士山ウオークです。帰りは雪かも・・・。





１２月１７日（火）晴・　度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 17 日(火)05 時 52 分 51 秒

編集済

先日の

伊豆巡礼で伊東・東林寺の六地蔵は変わった前掛けだった。

普通、赤い前掛け・涎かけで無地が多いが、ここのは「般若心経」を書いてあった。

販売している物でなく、わざわざ作ったようだ。分けてもらえれば、何かに利用出来そうだ。

「結願祝い」にイイかもですね。

１２月０９日（月）晴・　度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 9 日(月)08 時 44 分 0 秒　　編集済

昨日は
１２月度・さわやかハイキングで沼津ＡＬＰＳでした。コースは、駿豆線・原木駅～日守山～鷲頭山～香貫山～沼津駅北口。天気は曇～晴。参加は１５名。
原木駅発７：００。狩野川を渡り、最初から急登が続く。日守山で休憩。大平山はまた急登。ここで清水・やまびこハイキングの内藤さん一行に会う。

大平山の下りで仲間の足が痙攣。結局、多比に下山。鷲頭山でまた急登と急下降。空腹を抱え徳倉山の急登。１２時前徳倉山着。頂上で「鍋焼きうどん」大会。頂上で元会員のＩ氏に会う。

徳倉山を下る。柏のツアーが大勢上って来た。今夜は島郷の宿に泊まるそうだ。更に下で浜松の３０名の団体。１２時を過ぎたのに、まだ昼食前と参加者が苦情。

最後の香貫山の展望台に上って全員で握手。ここから黒瀬登山口を経由して沼津駅北口に１６時前着。昼食時間を抜いて８時間弱だった。やっぱり沼津ＡＬＰＳは厳しい山です。

１２月０８日（日）晴・　度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 7 日(土)17 時 29 分 51 秒　　編集済

現役

官僚が日本を告発？？した本、「原発ホワイトアウト」若杉　冽（わかすぎ　れつ）講談社　ｐ３１９　１６００－。読みました。

多分、殆ど事実・真実に近いと思う。この本はフィクションではない。迫力ある描写が続く。多忙極める現役官僚でよく書く時間があったと思う。しかも上手い。

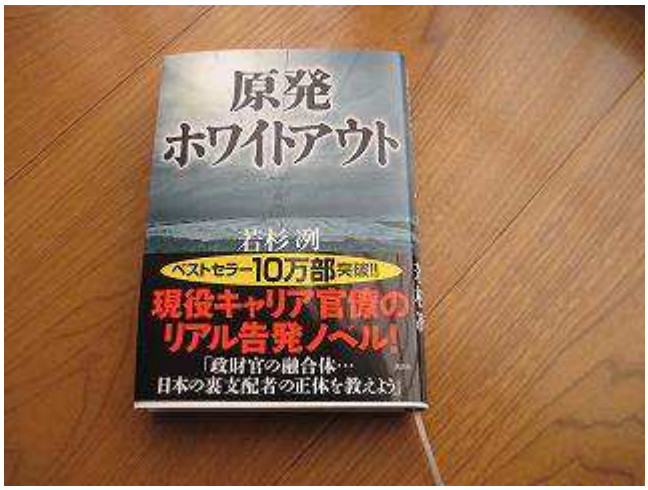
電力を取り巻く様々な状況は、我々平民が「どうのこうの」の世界ではないようだ。。どうにもならない状況。諦念の世界。ある意味、この状況が続く限り、日本は何も変わらない。というより、日本も体のイイ、反資本主義かもしれない。ただ、我々は知らないだけだ。

現在、反原発で話題の元総理大臣も露骨に登場する。ある意味、時の権力者は「何でもあり」なのだ。でっち上げ、裏工作、裏切り。敵を駆逐するためには何でもあり。検針係りのオバサンまで使う徹底ぶり。

日本で一番偉いのは、東京大学法学部卒業者。同じ東大でも学部が法学部以外はクズだ。そしてそれらの一部の人間が日本を牛耳っている。「三権分立」など、絵にかいたモチ。裏では全てツルンでいる。

この本は改めてこの国は、誰がどうしても、どうにもならないことを教えてくれる。でも、ここまでよく書いてくれた。犯人探しにあわないように祈りたい。

この日記は、７日に書きました。明日は、１２月度・さわやかハイキングで沼津ＡＬＰＳです。



１２月０６日（金）晴・６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 6 日(金)08 時 35 分 21 秒　　編集済

らいおん様

貴重な投稿、有難うございました。
やっぱり沢でしたね。
私はかねてから気になっていましたが、やっぱり御殿場
ルートは、長田尾根を上り下るのが、ベストと思います。

大瀬崎の神池には、鯉が沢山いました。
「エサ」が、自動販売機で売っているのには笑いました。

Re: １２月３日（火）晴・２度　返信・引用

投稿者：**すずきらいおん**　投稿日：2013 年 12 月 5 日(木)22 時 08 分 16 秒

> No.2236[元記事へ]

おじゃまいたします。
二本焼き鳥の会・南伊豆の事務局です。今年 3 月の ITJ トレランでご挨拶しました。

富士山、最近事故が続いて心配ですね。お気をつけて。
先日の事故情報＞　http://blogs.yahoo.co.jp/ganbadanorichan/15238820.html?__from=mixi

わたしは山頂までは 2 回、九月に上がったことがあるだけです。
瓶坊なので、有料化されたらもう今後は富士山へは行けないことでしょう（笑）。

１２月５日（木）晴・５度　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 5 日(木)08 時 29 分 18 秒　編集済

昨日は

１２月度・伊豆一周ウオーキングで、井田（いた）～明神池
～大瀬崎～神池。天気は無風快晴。参加は４１名。

県道から明神池に下る。快晴で富士山が大きい。ここからの
富士山は、平成１５年度・ＮＨＫ富士山写真コンクールで特
選を得た地。三保の松原よりイイの意見。

再び県道に戻り大瀬崎を目指す。井田トンネル先から西伊豆
歩道に入る。下見時より綺麗になっていた。
大瀬崎に下りて崎を周遊。ゴロタ石から洋上の富士山が雄大。

周遊道は何故か途中に鉄条網があった。聞けば神池がある大
瀬神社は有料で１００－だそうだ。京都の寺は有料はあるが
神社が有料は珍しい。

浜で記念写真を撮って今日は終了。伊豆長岡・サンバレーの
忘年会場に向かった。

１２月４日（水）晴・　　度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 3 日(火)16 時 04 分 22 秒　　編集済

富士山
遭難で遭難者をヘリが上手くピックアップ出来ず３ｍほど落ちてしまったようだ。
ヘリのトラブルは少なくない。操縦席から真下が見えないからピックアップのタイミングなど熟練をようするようだ。

有名なのは２００２年１月、東邦航空・篠原秋彦氏の事故で、氏はヘリをＪＡＦ的に展開したいの構想を持っていただけに、とても残念な事故だった。
http://www.convention.co.jp/ip/hira/shinohara.html

私も過去、自身ではないがパーティーで２回ヘリの世話になった。救助隊は奉仕の心で献身的に事に当たってくれる。だから非常に有難いと感じる。

ある日ある時、夜であろうと嵐であろうと吹雪だろうが、突然召集を掛けられ危険な山岳に赴く。いくら仕事といえ、３Ｋ・５Ｋ以上の仕事だろう。

山は基本的に遊びで自己責任の世界だ。事故は勿論不可抗力もあるが人的な原因もある。遭難し救助が上手くいかなかったとしても誰も責めることは出来ない。その覚悟がなければ厳しい登山は出来ないだろう。

救助隊にはこの事故を糧にして更に努力・精進・研鑽を重ね今後も頑張って頂きたいものです。

この日記は３日に書きました。明日は、１２月度・伊豆ウオーキングです。写真はＨさん。

１２月３日（火）晴・２度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 3 日(火)06 時 43 分 8 秒

編集済

今朝は寝ていて寒かったが、気温は２度だった。

富士山で遭難があった。同じ勤労者山岳会の仲間だった。
残念だがご冥福を祈るしかない。

御殿場口冬富士は何回も頂上まで行っている。
実は御殿場口が一番安全なのです。
問題は一番最長で労力が掛かること。

ただし、安全なのは長田尾根の場合。
長田尾根は旧測候所所員が上り下ったルートで冬富士で一番
安定したルート。しかも当時は、測候所所員用の「手すり」が
あったので更に安心だった。（現在は撤去）

思うに今回の事故は、長田尾根でなく沢を下った可能性があります。

富士山の沢は急峻で難しいです。しかし、エベレストに上った人が
滑落とは？？分からないものですね。

今朝の新聞報道では、「アンザイレン」（ザイルで互いに結び合う）
していたという。
普通、冬富士山ではそれはないが、訓練としてやっていたのだろうか。

当日、私は鋸縦走中でしたが、無風快晴で雪が少ない富士山では
問題ないと思っていましが・・・。

１２月２日（月）晴・　　度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 2 日(月)05 時 44 分 47 秒　　編集済

昨日は
愛鷹連峰・位牌岳でブナ観察でした。天気は無風・快晴。参加は２名。

前回、鋸岳でやりのこした作業があったので、再び鋸岳から入山。何故か前回なかったロープが随所に張られていた。位牌岳のブナはサイコ―だった。殆どの巨木がたわわに
実を付けていた。愛鷹山でブナ観察を始めて１３年になるが、こんな凄い現象を観たのは初めてだ。

感動でした。嬉しかった！！このほか毎回の事だが、愛鷹山は天城山と違い幼木を沢山見ることが出来る。次代を担うブナが多いことは喜ばしいことです。

写真＝Ｋさん

１２月１日（日）晴・１度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 12 月 1 日(日)06 時 30 分 30 秒　　編集済

１２月か～、年賀状がぁぁ・・・です。

昨日は、久しぶりのソバ打ちでした。ツナギは畑のイモを使いました。水より楽で美味しいですね。

今日は、愛鷹山ブナ観察です。

１１月３０日（土）晴・１度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 30 日(土)06 時 46 分 24 秒

編集済

今日は、今季最低気温です。

２７日の富士山は久しぶりに笠雲が掛かった。
写真・上＝１０：４１　　・中＝１２：１０　　・下＝１４：２６　と時間を追って笠が増え、成長過程が分かる。
翌日の新聞には、離れ笠と報道されていた。ネットでは、この雲は翌日「雨」でなく「晴れ」とあたが、確かに雨は降らなかった。

富士山の笠雲は観察すると面白いですね。

１１月２９日（金）晴・７度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 29 日(金)09 時 12 分 6 秒　　編集済

猪頭

養鱒所で冷たい池に入って鱒の選別を行っていた。聞けば大きなものを出荷するという。大きなカゴの中に鱒が跳ねていた。

出荷する鱒はｷﾛ１４００－くらいという。大きな鱒は２～３Ｋｇだから、一匹３０００－くらい。味は分からない。

ただ現在、回転ずしなどで出るサーモンは、殆ど養殖鱒。自然のサーモンなど、日本全国の回転ずしになど供給出来る訳はない。

ここには特産の超大物鱒もいてブランド品。こちらは一匹、何万円するそうです。

１１月２８日（晴）・１１度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 28 日(木)08 時 58 分 16 秒　　編集済

昨日の

富士山ウオーキングは、無風・快晴の中、朝霧・道の駅
～田貫湖～白糸の滝まで歩きました。参加は２３名。

朝、道の駅は寒かった。帽子・手袋・マフラーで防寒。
富士山は雄大だった。
東海自然歩道を南下。麓山の家で休憩。

猪頭養鱒所で見学。出荷する大きな鱒を選別していた。
ここから田貫湖に向かう。
湖から大きな富士山を堪能。ここはイイところだ。
ただ、風はモーレツに冷たかった。

昼食後、白糸の滝に下る。このあたりの紅葉は素晴らしい。
滝は現在工事中。新設のコンクリ橋は無粋だ。
ウオークはここで終了。天母の湯に向かった。

１１月２７日（水）晴・　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 27 日(水)04 時 41 分 50 秒

今日は

１１月度・富士山ウオーキングで、朝霧道の駅～
田貫湖～白糸の滝です。

１１月２６日（火）晴・１０度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 26 日(火)06 時 46 分 4 秒　　編集済

天城

登り尾北面のブナは元気だった。林床には沢山の実生が落ちていた。天城のブナも今年は大豊作とみた。
ただ、天城の他の山域もそうだが案外、幼木が少ない。これは大いに気になるところだが・・・。

その点、愛鷹連峰は、実生の豊作は何年かに一回だが、幼木は鋸稜線・前岳～位牌稜線には相当数ある。この違いは何処から来るのかは不明。
沢山の実生が落ちても何故、発芽～成長に至らないのか不思議である。

写真は、全てＨさん。

１１月２５日（月）晴・７度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 25 日(月)08 時 51 分 50 秒

編集済

昨日は

１１月度・さわやかハイキングで天城・登り尾（１０５６ｍ）でした。天気は無風・快晴。参加は１２名。

天城トンネル下の駐車場から旧道を下って、北面の沢から取り付く。しばらく沢を上り尾根を上り、４０分程で正規のルートに出る。下部の紅葉は良かった。

気持ち良い上りで鉢巻道に入る。時間があるので北面を大きく捲いて大樅・大ブナ・姫沙羅の原生林を訪ねる。鉢巻道は所々崩れ歩き難かった。

１１時丁度、頂上着。以前あった河津町の「登り尾山」の陳腐な看板は撤去されていた。代わりに「登り尾　１０５６ｍ」の縦型の小さな山名表示板があった。ただ、この板、生っ木に釘で止めてある無神経さには驚いた。

頂上は「鍋焼きうどん」大会で盛り上がった。この時期、「鍋焼き」は美味しい。下山は新山峠から寒天林道を下った。秋の天城はイイね。

前日、仲間で韮山ののＳＷさん・沼津の鉄人ＫＤさんもここで「宴会」だったそうです。(笑)

１１月２４日（日）晴・　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 24 日(日)05 時 16 分 21 秒

怖いね

雪崩は。楽しいハズだったスキーも一瞬にして地獄と化した。尊い７名の命は帰らない。同じ山で亡くなるでも雪崩は嫌だ。

ただ、この時期、過去の記録をひも解くと、毎年新雪表層雪崩は起きている。少し注意をするか、警戒心を持てば状況は変わっていたかもしれない。残念でした。

今日は、１１月度・さわやかハイキングで天城・登り尾です。

１１月２３日（土）晴・３度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 23 日(土)07 時 04 分 56 秒

編集済

今朝は今冬、最低気温でした。

写真は先日、富士山八合目で話した滋賀の方。
前日、滋賀から車で来たという。

写真で見る通りカッコイイ方だった。
聞けば、身長は１７４ｃｍ、体重は６６ｋｇだそうだ。
ほぼ、私と同じだが滋賀の方のが、カッコイイね。

見るとヤッケは、ＭＵＴＭＡＴ。これは凄い高いヤッケで
ネットでも７９８００－！！する。（ええ～、マジかよ～！！）
ちなみに私のヤッケは、ＭＩＺＵＮＯの雨具で８０００－だ。
（とほほ・笑い）

パンツも６３０００－だって！！締めて１４２８００－！！
先日私が１０年ぶりに換えた、スタッドレス・タイヤより高い。
足元がスッキリと思ったら、スパッツがない。確かにこれがないと
スッキリはする。ただ、深雪でどうか・・・？？

山の装備にここまで投資する輩もいる訳だ・・・。
これがカッコイイ理由。ま、スタイルもイイですが。
ただ、オーバー手袋の五本指はイカンね。あれだけ風が吹くと
用をなさない。

ピッケルの肩掛けはイイね。靴・アイゼンはまあまあ。
ピッケルはこれでは短すぎる。これでは用をたさない。
ま、実力次第ですが・・・。

たまに、他人の装備観察も勉強になりますね。ああ、でも
スマートにカッコよく、行きたいですね～！！

１１月２２日（金）晴・７度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 22 日(金)11 時 56 分 37 秒

編集済

昨日の
伊豆八十八札所巡礼は、好天に恵まれ予定通り、
日金山・東光寺から網代・長谷寺まで歩きました。
参加は２３名。
風邪っ引きでお休みが多かったです。

１１月２１日（木）晴・　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 21 日(木)04 時 36 分 51 秒

今日は
１１月度・伊豆巡礼です。
日金山・東光寺から網代・長谷寺まで歩きます。風邪っ引きが多いです。

私も先日、四国で三日間、下痢を伴い「バー・ビー・ブー・ベー・ボー」で、豪い目に会いました。
ご自愛ください。

１１月２０日（水）晴・７度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 20 日(水)06 時 25 分 2 秒

編集済

映画

「ダイアナ」を観た。
ナオミ・ワッツはなかなか熱演で、まあ、それなりに良かった。
全編「ダイアナ」の「哀れさ」が漂った。

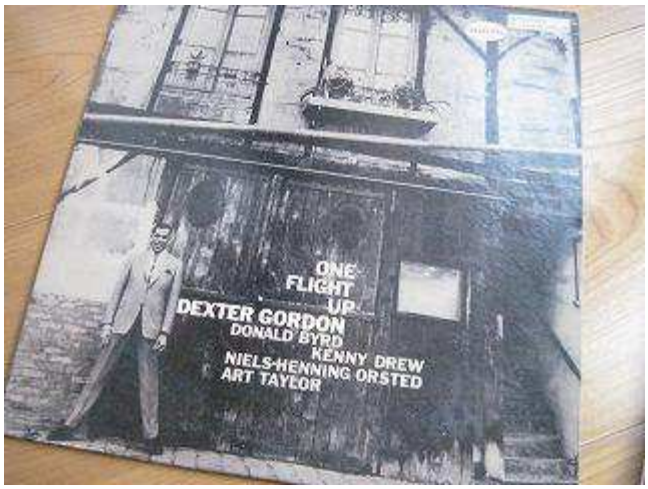
で、チャールズと別居してアラブ系の心臓外科医と付き合う。
その医師がＪＡＺＺが好きだった。
ダイアナが侍女みたいのにＪＡＺＺを理解したいが、どんなＣＤ
を聞けばイイか相談する。

侍女が数枚のＣＤを持って来た。
見覚えのあるＣＤが何枚かあったが、その中で選ばれたのが、
デクスター・ゴードン（ｔｓ）の「ＯＮＥ　ＦＬＩＧＨＴ　ＵＰ」
＝ＢＬＵＥ　ＮＯＴＥ９６５０５、だった。

実は、このＬＰ・ＣＤは私も持っていた。
ええ～で、ちょっとビックリしたが、何故か嬉しかった。
映画館で持っているＬＰ・ＣＤを聞くのは初めてだったが、
その音の良さ・迫力に感動だった。

「ＯＮＥ　ＦＬＩＧＨＴ　ＵＰ」・・・。
ダイアナがこれから生きて行くに、丁度良いタイトル
だったかも・・・。

写真・上＝ＬＰ、下・ＣＤ



１１月１９日（火）晴・６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 19 日(火)05 時 56 分 11 秒　　編集済

Ｓさま

「練馬」でなく「杉並」、失礼いたしました。
どうも、どっちがどっちだか、分からなくって？！
そういえば、労山も両方ありましたね。

究極の冬富士登山は、御殿場口から往復となる。
往復約１２時間。５時に出れば、帰着は１７時。
標高差は、洞門標高約１２９０ｍ～頂上３７７６ｍ＝約２４８６ｍ。
富士山各登山口で最高の標高差を誇る。

ちなみに、甲斐駒・黒戸尾根は、駒神社から頂上まで
２２１７ｍ。剣岳・早月尾根は、２２３９ｍ。標高差だけなら、
いかに富士山の標高差が大きいか分かる。

１時間３００ｍ上るとして約８時間掛かる計算。従って
下りは４時間。以前は冬の風物詩として毎年上ったもの
だが、最近は全く上っていない。体力以前に「気力」が
萎えてしまっている。

若い方には是非、一度はトライして貰いたいものだ。
ただ、気象条件はベストを選びたい。出来ればだが、
「快晴・無風・高温」がイイ。しかし、冬でそんな
ことを望むのは虫が良し過ぎるね。（笑い）

Re: １１月１８日（月）晴・　　返信・引用

投稿者：**おさむ**　投稿日：2013 年 11 月 18 日(月)06 時 32 分 32 秒

> No.2220[元記事へ]

お世話になりました！！
「練馬」ではなく「杉並」のＳです。
富士山のすばらしさを満喫し、15 時半に
温泉を出発！御殿場インターに乗るまでに
2 時間かかりました。杉並自宅は 20 時半着。
5 時間かかった訳です。御殿場インターは
第一ゲート合流点で大きな追突事故があって
こんなに渋滞していたのでした。途中で思い
切って第２ゲートから入ろうと、進路変更
したのが正解でした。あのままだと、さらに
１時間は乗るまでにかかったでしょう！！

　それにしても夏富士の異常なほどの登山者

とはうって変わり、富士山独占のすばらしい
1日でございました。温泉も良かったです！！

写真は9合目を目指す皆さま。雪煙がすごいですね！
2枚目は8号五勺から9合目を撮影。先を行く
若者2名が写っています。

１１月１８日（月）晴・１０度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013年11月18日(月)05時56分38秒

編集済

贅沢な富士山

昨日は、富士山富士宮五合目～８合五勺でした。天気は強風快晴。参加は４＋１名。

前夜発予定だったが、後発がスタッドレスを用意出来ず全員当日発。朝、下土狩は寒かった。

今年五合目の周遊道は２５日から閉鎖される。先日大雪で除雪してくれるか心配だったが、仲間の杉並・Ｓ氏が昨夜先発し既に五合まで入った。報告では、スタッドレスなら問題ないとの携帯だった。

入り口に着くと「馬」で止めてあったがどかして入る。除雪し通行できるのに、この措置は分からない。五合目着。練馬のＳ氏と合流。昨夜は強風が吹いたらしいが今はマアマア。ただ、上部は雪煙が上がっていた。

６：３０出発。トレースはあったが、これは昨日以前のもので、今日はまだ上っている人はいなかった。当日発とお遍路の疲れ？があり、可なりかったるい。トップは適当交代しに騙し騙し上る。

今回初参加の若いＫにもトップを行かせる。私と２３歳違いでアスリートと彼女はガンガン上り速かった。歳を感じますね～（笑い）

風は半端でなかった。２０ｍくらいだろうか。完全装備でないととても歩けない。特に八合から上は、ゴーゴーと唸っている。いつしか下から来た二人の単独行に抜かされた。後で聞いたら一人は滋賀から来たという。

結局、今日の登山者は我々５名と単独２名の７名のみ。車は４台のみ。観光客はゲートの「馬」が利いてゼロ。今回の除雪経費は不明だが、これは「贅沢過ぎる富士山」だった。

１１：００過ぎ八合五勺で下山。追い抜いていった２名も程なく下山し、従って、この日の富士宮口の登頂者はいなかった。厳しい山だったが、課題も見つかり、冬山訓練としてはイイ山だった。

写真は、全てＳさん撮影。

１１月１７日（日）晴　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 17 日(日)04 時 10 分 22 秒

今日は

富士山頂です。
雪は多そうですね。

１１月１５日（金）晴・１１度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 15 日(金)07 時 27 分 0 秒

編集済

第７回

４年目（春・秋、年２回）の四国お遍路に行って来ました。
期間は、１１月０８日（金）～１４日（木）。天気は１日だけ小雨がパラリ。参加はお遍路７名、マラソン１名。

８日・晴＝下土狩発４：００．前回最終地「鎌大師」着１５：０２で遍照院先まで稼ぐ。
９日・晴＝７：０２お遍路開始。５４番・延命寺～５５番・南光坊～５６番・泰山寺～５７番・栄福寺～５８番・仙遊寺を歩く。宿泊は温泉付きの仙遊寺。
10 日・朝小雨＝７：１８開始。朝小雨だがすぐ止む。この日は、５９番・国分寺のみ。
11 日・晴＝７：１２開始。６０番・横峰寺～６１番・香園

寺～６２番・宝寿寺～６３番・吉祥寺～６４番・前神寺を歩く。横峰寺は標高７４５m。厳しい上り。住職はイイ感じの方だった。

12日・晴＝６：５０開始。今日、寺はない。ひたすら歩く。約２８Kmで終了。冬型で寒く周りの山は降雪で真っ白。風邪気味で参った。

13日・晴＝６：５０開始。６５番・三角寺を経て、徳島・香川・愛媛県境付近の境目トンネル付近で今回のお遍路を終了。宿泊は「かんぽの宿・観音寺荘」瀬戸内海に浮かぶ小島をバックに夕日がキレイだった。

14日・晴＝８：１５帰静。下土狩１６：３０。今回も厳しくも楽しく充実したお遍路でした。合掌。

１１月７日（木）雨・１３度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 7 日(木)09 時 22 分 19 秒　　編集済

昨日は
１１月・伊豆一周ウオーキングでした。コースは予定通り。
天気は無風快晴。参加は３７名。

朝、雲が多くモヤっていて、今日は涼しくてイイと思いきや、次第に雲が飛び、先月同様暑い一日だった。だた、夏と違い湿度は低く、木陰は快適だった。

土肥～戸田は、巡礼で歩いているので問題はない。戸田から先は初めての道。戸田に下りて取りあえず、御浜岬（みはまみさき）で昼食・休憩。
ここは白砂青松を絵にかいたようなイイ所だった。皆さん、家族で昔訪れた時以来らしく、思い出話に盛り上がった。無風快晴で一時間の休憩は短すぎた。

午後は井田・明神池の予定だったが、手前で終了。なかなかイイ、ウオーキングでした。

＊明日から一週間ほど、日記休みます。

１１月６日（水）晴・１４度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 6 日(水)04 時 39 分 23 秒

銀杏の
季節です。今年も某所でゲット。銀杏は美味しい。
色も綺麗です。

今日は、１１月度・伊豆一周ウオーキング。土肥～戸田～井田・松江（すんごう）までです。

１１月５日（火）晴・１３度　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 5 日(火)08 時 17 分 37 秒　編集済

今期は

少しゲレンデスキーのやってみようと、ゲレンデ用のスキー
を買ってしまった。

驚いたのは「靴」の履き易さだった。
山スキーの靴は何足かあるが、いずれも何処か当たったり
履きにくい。

ゲレンデ用は完璧。物凄く履き易いので驚いた。
板は重いが重いほうが滑り易い。山スキーの板は軽いが
バタバタする。

ま、今期はちょっとゲレンデで遊びましょう。

１１月４日（月）雨・２０度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 4 日(月)05 時 57 分 3 秒

編集済

Ｓさま、投稿ありがとう。

へえ、Ｓさまは、既に「せんしお」でしたか。意外ですね。
ま、確かに「しおみ」だから「せんしお」は「理屈」です。
ただ文化は「理屈」でなく「歴史」。

おそらく「せんえん」と言われた「歴史」があるのではない
でしょうか。その辺を研鑽すれば、更に深いものになりますね。
私ら古い山屋は、「せんえん」でインプリントされています。
「せんしお」は、馴染めませんね。

ちなみに、私がここを初めて縦走したのが、１９７５年１０月
９日～１４日、冬は同年１２月２８日～１月１日です。
私にとって、冬の「せんえん尾根」は、永遠のハイマートです。

縦走は二人だった。三峰の上りと塩見の上りが厳しかった。
最後の夜はバテバテで本谷山で宿泊。翌日、三伏峠を下る時、
アイゼンを履かず下っていたパーティーを数名追い抜いた。
三伏から塩見に上ったパーティーだった。

それがM労山で、鹿塩のバス停でバスの待ち時間、初対面
の盛大な酒盛り。飯豊で遭難したM氏が印象的だった。
それが縁で私は労山に入会する。

そんなことで「せんえん尾根」は、私にとって忘れられない
山となっています。
今年夏は逆打ちの「しおせん尾根」でしたが、冬以来だった。

写真は、新しいゲレンデ用のスキー。

仙塩尾根

返信・引用
編集済

投稿者：**S**　投稿日：2013 年 11 月　3 日(日)23 時 43 分 30 秒

蘊蓄（うんちく）を少々垂れます。

ご存じの通り、漢字の読みには中国古来の発音に近い音読みとその漢字に日本語の意味を持たせた訓読みがあります。例えば運動の運の音読みは「うん」で訓読みは「はこ（ぶ)」です。動は「どう」と「うご（く)」ですね。運動を「うんどう」という風に両方とも音読すると違和感がありませんが「うんうごく」では変ですね。

普通は音読み、訓読みはどちらか一方で読むと違和感がありません。また音読み、訓読みどちらでも統一されていればＯＫです。例えば有名な登山家の槇有恒は音読みの「ゆうこう」でも訓読みの「ありつね」でも良いわけです。松本清張も「せいちょう」でも「きよはる」でもＯＫです。

で、仙塩ですが音読みならば「せんえん」です。だから塩を訓読みした「せんしお」は違和感を感じます。こういうのを重箱読みと呼ぶんだそうです。重箱は「じゅうそう」か「かさねはこ」が本来の読みだったんでしょうね。それが重が音読み、箱が訓読みの「じゅうばこ」になっちゃたわけです。

ところで仙塩尾根は仙丈岳から塩見岳に続く尾根のことですので山名の頭の文字を重ねたものですね。本来は「せんえん」でしょうが塩見岳の読みが「しおみ」なのでの塩見であることを明らかにするために「せんしお」となって行ったのだと思います。私がこの言葉を初めて聞いた時は既に「せんしお」でした。

こういう音読み・訓読みの混同で最近気になるのが電車の車内放送の「ななじ」という言い方です。七時はかつては電車内でも「しちじ」だったわけですが一時「いちじ」との聞き違えを避けるために「ななじ」としたのでしょう。でも一時と七時は６時間もの間があるので聞き違えはしないと思いますがいかがでしょうか？これも「せんしお」と同じでその内に聞
き慣れるんでしょうか？

１１月３日（日）晴・１７度　　返信・引用

投稿者：たかチャン　投稿日：2013 年 11 月 3 日(日)09 時 34 分 5 秒

風間さんの
「南アルプスの歳月」の中で嬉しかったのが、Ｐ６４に仙丈岳～塩見岳・・・・仙塩尾根（せんえんおね）が出ていたことだ。

この名称、現在山岳雑誌やネットでは、「せんしおおね」が圧倒的に多い。だから私が若い衆に「せんえんおね」と言っても、「そうですか？？」と信じて貰えなかったくらいだ。

山の名称・呼称もそうだが、時代で変わる。典型的なのが、白馬岳で、本来「代馬」（しろうま・・・代掻き馬）から来ているが、いつしか「はくば」になってしまった。

仙丈岳も今は、仙丈ヶ岳。昔は「ヶ」が無かった。丹沢の世附・・・・昔は「ゆずく」と読んでいた。現在は「よづく」らしい。国土地理院の２万５千もわざわざ、ルビをふってある。ネットでは、「ゆずく」も少し見られる。

ちなみに、２０００年５月発刊の山渓「ヤマケイ・アルパインガイド」には、「ゆづくとうげ」になっている。余談だが、この辺は「湯触」「湯船山」がある、もっと昔は「湯附」だったかも・・・。

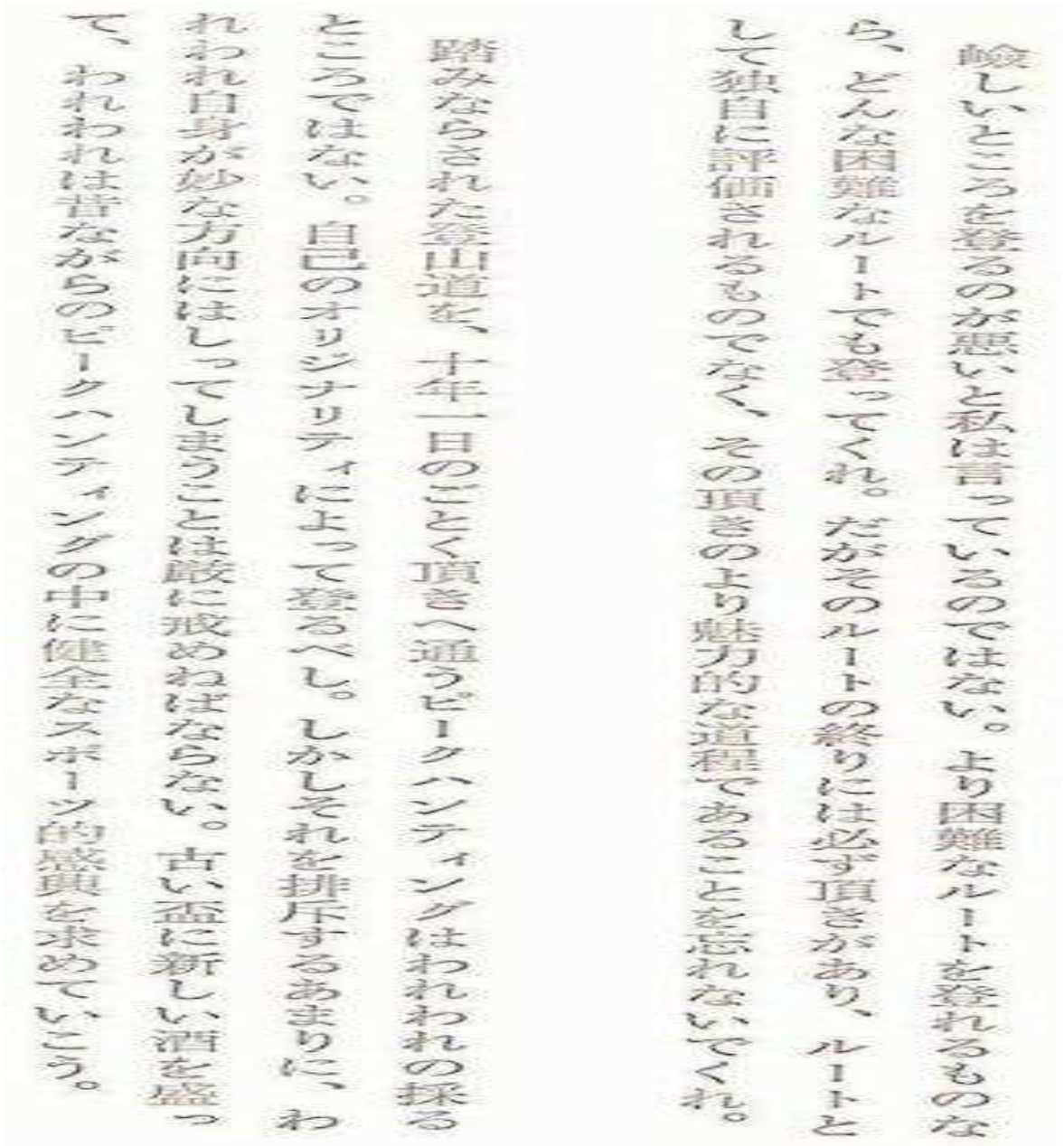
ま、言葉は生き物だから時世に流されるのは仕方がない。ただ、これは文化だから、昔の名称・呼称をそう簡単に変えられては遺憾ですね。

写真は、１９７６年９月の北岳バットレスの写真。やっぱり、革靴にニッカズボン。３７年前のことです。今日は、愛鷹でブナ観察です。

本文　　返信・引用

投稿者：S　投稿日：2013 年 11 月 1 日(金)23 時 47 分 38 秒

ピークハンティングに帰れ


険しいところを登るのが悪いと私は言っているのではない。より困難なルートを登れるものなら、どんな困難なルートでも登ってくれ。だがそのルートの終りには必ず頂きがあり、ルートとして独自に評価されるものでなく、その頂きのより魅力的な道程であることを忘れないでくれ。

踏みならされた登山道を、十年一日のごとく頂きへ通うピークハンティングはわれわれの採るところではない。自己のオリジナリティによって登るべし。しかしそれを排斥するあまりに、われわれ自身が妙な方向にはしってしまうことは厳に戒めねばならない。古い盃に新しい酒を盛って、われわれは昔ながらのピークハンティングの中に健全なスポーツ的興趣を求めていこう。

[松濤明](#)

[返信・引用](#)

投稿者：**S**　投稿日：2013 年 11 月 1 日(金)23 時 38 分 52 秒

[編集済](#)

＞体がシャープですね

→まだアルコール漬けになっていない頃ですね。

私も山頂に直接出るルートが好きです。バットレス中央稜、滝谷第１尾根、前穂東壁（Ａフェース）などですね（これらは登りました）。これは松濤明の影響が大きいと思います。

超有名な「風雪のビバーク」の「ピークハンティング
に帰れ」の一節を載せます。これ 1947 年 10 月、松濤明
２５才時の文章です。今読んでも違和感のない文だと
思います。松濤明はご存知の通り、この１年後に北鎌
尾根で遭難死しています。

私は他人に語れるほどの本格的な冬の岩壁登攀まで辿
り着くことができませんでした。せいぜい赤岳西壁北
峰リッジを２月に登った程度です。良い言えば自分の
実力を知っていた、悪く言えば行動を起こせなかった、
と言ったところです。

１１月２日（土）曇・１４度　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 2 日(土)06 時 53 分 2 秒　編集済

了解です。

う～ん、よく分かりますね。松濤　明は、最大限尊敬する岳兄です。例の徳澤園の写真は
彼の全人格を表しています。

だからこそ山は「下ってはいけない」が私の持論です。甲斐駒～鋸、奥穂～西穂高山荘、槍～千天出合等、最近は「下る」輩が多い。それで上ったと吹く。やっぱり上るのは、その山の魅力を最大限感じる場なのだ。
いつごろからそんな風潮が出て来たか不明ですが、山は「上って」なんぼの世界。頂きを目指し、長い長い上りの苦しさの中から、登山の妙味を享受出来ると思いますね。

話は変わりますが、
先日、ＮＨＫで最近「遺影」を作るのが当世風とやっていた。で、私も先日の仙水峠で「遺影」を撮った。（写真）ちょっと、バックと同系色で残念だが・・・（笑い）
考えてみれば今年は葬式が多かった。近所のジイさんが最近見えないと思ったら、熱中症で逝ったとのこと。今年は暑かった。
ま、人間「諸行無常　諸法無我」だ。「遺影」を撮っても決して笑しくないですね。

松濤明　　返信・引用

投稿者：**S**　投稿日：2013 年 11 月　1 日(金)23 時 38 分 52 秒　　編集済

＞体がシャープですね
→まだアルコール漬けになっていない頃ですね。

私も山頂に直接出るルートが好きです。バットレス中央稜、滝谷第１尾根、前穂東壁（Ａフェース）などですね（これらは登りました）。これは松濤明の影響が大きいと思います。

超有名な「風雪のビバーク」の「ピークハンティングに帰れ」の一節を載せます。これ 1947 年 10 月、松濤明２５才時の文章です。今読んでも違和感のない文だと思います。松濤明はご存知の通り、この１年後に北鎌尾根で遭難死しています。

私は他人に語れるほどの本格的な冬の岩壁登攀まで辿り着くことができませんでした。せいぜい赤岳西壁北峰リッジを２月に登った程度です。良い言えば自分の実力を知っていた、悪く言えば行動を起こせなかった、と言ったところです。

１１月１日（金）晴・１５度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 11 月 1 日(金)04 時 36 分 16 秒　　編集済

Ｓさま、投稿ありがとう。

それにしても、体がシャープですね。四尾根のバックにまだ雪があるから、７月くらいですか。
当時はニッカ、革靴が当たり前でした・・・。

先日の甲斐駒、久しぶりにニッカ―で上りました。膝ががとても楽でした。格好もイイと思いました。若い衆が「奇異」な目でしたが・・・(笑い)
現在では考えられませんが、革靴で良く上りました。ただ、私は現在でも革靴で上ります。結局、冬は岩場専用靴では上れません。常に冬を意識ですね。

縦走もそうですが、夏山・夏岩壁は遊びです。冬何処の壁をやったか、冬何処を縦走したかですね。
最近の山岳会の記録を見ても、冬の岩壁登攀は殆どありません。

ええ～、あんたは冬何処を登攀した？？ま、一応、

１．甲斐駒・摩利支天中央壁右ルート（１９６８．１２．３０～１．５）
２．甲斐駒・水晶沢
３．八ヶ岳・阿弥陀岳北西稜フランケ（初登攀？？！！・笑い）
４．八ヶ岳・大同心
５．八ヶ岳・赤岳西壁
６．．北岳バットレス中央稜（１１月２３日）
７．富士山宝永山・十二薬師

と、まあそれ程自慢できるものでは、ありませんが・・・・。
でも、今年も冬山はそこそこ、頑張るつもりです。

古いついでに

返信・引用

投稿者：S　投稿日：2013 年 10 月 31 日(木)23 時 53 分 8 秒

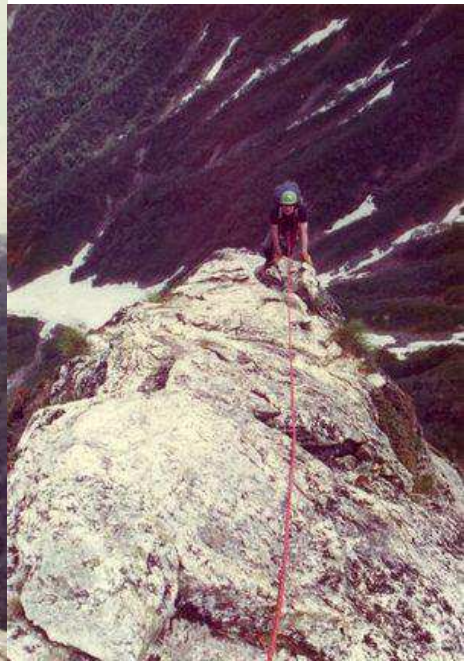
編集済

私も初めてのバットレスは下部フランケ～４尾根～中央稜とつなげて登りました（と言うか先輩に引っ張り上げてもらった)。

写真はその時のものです。もう４０年近く前です。私がまだかわいかった(？)頃です。hahaha
パラシュート型のフルハーネスが時代を感じさせますね。

２枚目の写真、白い花崗岩のマッチ箱のリッジは余裕だったのですがこの後の中央稜のすごい傾斜に恐ろしい思いをしました。

社会人になって初めての夏のボーナスでミレーのザックを買いました。この時がその使い始めだったと記憶しています。



１０月３１日（木）晴・

返信・引用

投稿者：たかチャン　投稿日：2013 年 10 月 31 日(木)05 時 34 分 11 秒

編集済

追伸

Ｓさま、投稿をありがとう。吉尾さんも若いね～。

バットレス中央稜は、正確に調べないと分からないが、５～６回上っている。下部岩壁～四尾根～中央稜が一番長いルート。
中央稜は直接頂上に出れるので気持ちが良い。１１月２３日に上ったのが一番遅い時期。勿論、氷化しているのでアイゼンを使った。

ヨーロッパの冬期登攀定義は、冬至から春分の日らしいからこの時期の登攀は残念ながら冬期にはならない。冬の北岳そのものは、３回上っているが、１１月末と１月ではやっぱり雲泥の差。

バットレスは５月連休に一度上っている。一尾根の雪稜は素晴らしかった。５月は大樺沢の雪も凄くて、取り付くまでがなかなか厳しかった。

もう池山尾根から冬の北岳に上ることもないだろう。
北岳の冬は厳しい。
ここを上れば一応、一人前の山屋として認める。
冬山も年々、厳しくなりますね。

写真は先日、芦ノ湖のカヌーの親子。カヌーは２０万くらい。なかなか楽しそうだった。野田知佑も知っていた。

吉尾弘氏　　返信・引用

投稿者：**S**　投稿日：2013 年 10 月 30 日(水)23 時 02 分 5 秒　　編集済

中央稜の話はもう終わりですか？私の乏しい岩登り経験でもあそこは３回登ったことがあります。もちろんいわゆるノーマルルートで無雪期です。最初は２１才の夏でした。恐ろしくてワナワナしていたのを覚えています。

Ｇさんは吉尾弘氏に会ったことがあるんですね。私も一度会いたかったなあ。

１０月３０日（水）曇・１３度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 30 日(水)06 時 33 分 10 秒

編集済

昨日の続き

冬期バットレス登攀のメンバーで唯一知っているのは、吉尾　弘氏だった。氏は永く勤労者山岳会に在籍し、１９７２年から会長を勤めた。ただ、２０００年３月自身が初登攀した、谷川岳滝沢リッジで墜死する。

１９８３年、私が以前在籍していた、M労山の１０周年記念レセプションに来てくれた。気さくな方でいつも二コ二コ。記念講演をお願いしたが、内容は全く覚えていない。ただ、お話はあまりうまくない印象だった。３０年前の話だ。

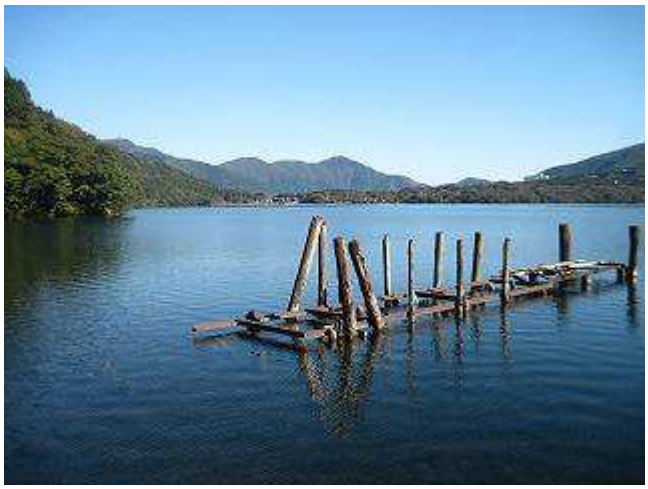
記念写真は、最前列で私の隣に座ってくれた。余談だが、この時４歳の娘も一緒だった。そして何故か何十年後、結婚する旦那も撮っていた。レセプション終了後、三島の居酒屋で飲んだ。結構、陽気だった。

氏を知るのは、高野　亮「クライマー」に詳しい。（拙宅・山岳図書あり）そして氏の山歴の凄さを改めて知らされる。
谷川岳東尾根第二登、滝沢初登攀、北岳バットレス、屏風岩初登攀、ネパールのパビール初登頂（労山隊）チョ・オユー（小松猛隊長,吉尾弘副隊長）、ダウラギリⅠ峰北東稜（長谷川恒男隊長,吉尾弘副隊長）、グランドジョラス北壁ウォーカー稜登攀、ドリュ西壁のボナッティピラーなど。（国内は全て冬期、一部ネット情報）

いずれにしても惜しい方を失った。氏だけではないが先鋭的な山をやっている結果は常に厳しいものがある。もう少し労山の為にも頑張って欲しかった方だ。

ＰＳ
バットレスのサポート隊で参加した、中日ニュースの羽田氏というのは羽田英治（はねだえいじ）さん。この方日本山岳会、日本山岳文化学会に所属していて私も何かとかわいがってもらいました。何年か前に我が家にピッケルを見にきています。今年亡くなりました。（この項、Ｓさんのメールから抜粋）

以上、バットレス関係は今回で終了。



１０月２９日（火）曇・１４度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 28 日(月)17 時 59 分 58 秒

編集済

昨日の続き

兎に角、このバットレスのパーティーは当時の最先鋭の面々が揃っていた。芳野満彦氏（故人）もその一人だった。

芳野氏といえば、やっぱり「山靴の音」である。私も駆け出しのころ、会社の組合の図書にあったこの本をむさぶる様に読んだものだ。この本も拙宅山岳図書にあったが、何時しか行方不明になった。

確か「はちまき（?）」という仲間と八ヶ岳冬期縦走を試みたが遭難して、パートナーを亡くし、自身も足の指を凍傷で切断することになる。しかし、氏はそんなことに怯むことなく、アルプスの三大北壁、マッタ

―ホルン北壁を日本人初登攀を成し遂げる。

それをモデルにして書かれたのが新田次郎の「栄光の岩壁」である。その時のパートナーは。渡部恒明だった。しかし、氏はその後、高田光政とアイガー北壁に挑むが墜死する。その辺の模様は、高田氏の「登頂、あと３００」に詳しい。（拙宅、山岳図書あり）

余談だが、昨年アイガー脇のスキー場に行ったら、アイガーのモニュメントがあり、人工雪の池の堤の岩にアイガーで遭難した登山者の名前が刻んであった。その中にアメリカン・ダイレクトのジョン・ハーリンとか渡部の名前もあった。

芳野さんに親しみを感じたのは、氏が「絵」をやることもある。ちょっと、熊谷　守一・榧的な絵で、私も少しやる関係で、氏の絵を見ると心が和んだ。

憧れの芳野さんだったが、お会いしたことはない。しかし、我が仲間のＳ氏は以前、亡くなる前に会いに行き著書にサインを貰ったり、ピッケルの薀蓄を語ったという。

面会の写真を見せてもたっらが、芳野氏も寄る歳には敵わず、相当な感じがした。ただ、生前の芳野氏に会ったＳ氏の情熱には、ただただ脱帽である。

写真は、Ｋ氏撮影

１０月２８日（月）晴・１１度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 28 日(月)06 時 36 分 19 秒

編集済

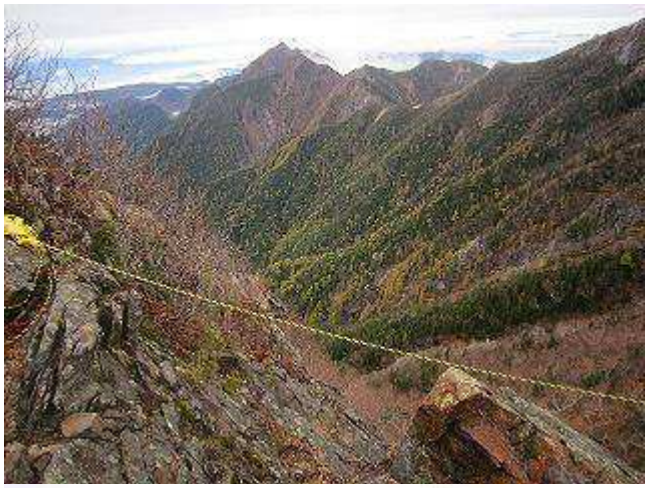
昨日の続き

風間さんは「梓」に通ううち奥山氏と親しくなり北岳のサポート隊員に誘われた。お客はほかに沢山いたと思うが、風間さんが選ばれたのは、人徳だったでしょう。

生前の奥山氏にお会いしたことなはい。ただ、氏は「奥山ラッパ」など異名があり、様々なメディアに登場していたから、一定のイメージはあった。

氏を知るには、著書「ザイルを結ぶとき」（拙宅、山岳図書にあり）に詳しい。
氏は国内登山・海外登山・著書・写真・映画・スキーと、とにかく精力的かつ情熱的だった。

しかし、最終的にはガンに侵され、１９７２年、自らその生涯を閉じた。４６歳。余りに短い人生だった。
ご健在であれば、８７歳。可能なら絶対お会いしたい方である。



１０月２７日（日）

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 26 日(土)18 時 02 分 36 秒

編集済

昨日の続き

「南アルプスの歳月」の第一章「歳月の茫々」には、１９５８年１月、あの歴史的な「北岳バットレス中央稜冬期初登攀」の一部が描かれていた。

この登攀は、奥山　章（故人）、芳野満彦（故人）、甘利仁郎、吉尾　弘（故人・元日本勤労者山岳連盟会長）、小板橋徹の５氏になされ現在でも伝説的な話として残っている。

風間さんは、この歴史的登攀の貴重な生き証人だった。
何故、風間さんがこの山行に参加したのだろうか？
当時、風間さんの会社は日本橋にあった。そして飯田

橋近くには、奥山　章が経営する登山店「梓」があり、
風間さんは足しげく「梓」に通った。

今日は、１０月度・さわやかハイキングです。写真は、
H道さん

（以下、続く）

１０月２６日（土）雨・１６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 26 日(土)07 時 17 分 16 秒

昨日の続き

前の座席にいた初老の方は、横浜市在住の風間嘉隆さん
だった。生年月日は１９３３年３月。長く銀行に勤めて
いたが、定年を機に好きだった登山を再開し、オートバ
イで全国を駆け巡った。

山は特に南ＡＬＰＳが大好だった。記録を「岳人」「山の本」に掲載し、それらを纏めたものを、白水社から２冊発刊した。ハードカバーのその本をさっそく送ってくれた。

一冊は、詩集「山から帰る日」、もう一冊は「南アルプスの歳月」で、アマゾンにも出されている。

http://www.amazon.co.jp/%E5%8D%97%E3%82%A2%E3%83%AB%E3%83%97%E3%82%B9%E3%81%AE%E6%AD%B3%E6%9C%88-%E9%A2%A8%E9%96%93-%E5%98%89%E9%9A%86/dp/4894751011

「南アルプスの歳月」は、表紙・中表紙・後表紙の絵が、驚くなかれ、昨年２月に亡くなった「芳野満彦氏」だった。何故、芳野氏の絵なのかは、巻頭の「歳月の茫々」に詳しかった。

（以下、明日に続く）

１０月２５日（金）雨・１８度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 24 日(木)17 時 13 分 44 秒

編集済

先日

甲斐駒を下り、バスで北沢峠から広河原に出て、芦安に
向かった。
私は埼玉の若い衆と前から二番目の座席だった。

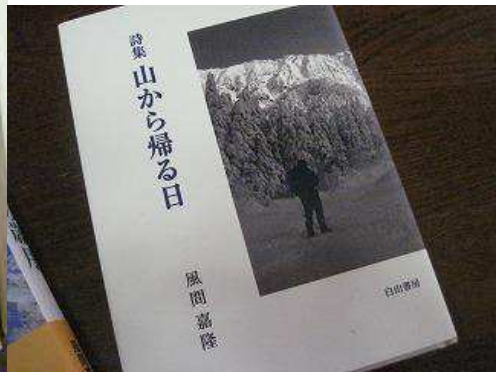
バスは芦安まで約一時間かかる。隣の若い衆と雑談を始めた。
若い衆は、まだそれほど登山の経験は無かったから、あれが
北岳の池山尾根（いわゆる吊り尾根）とか、昔は夜叉神トンネル
を歩いて、鷲住山まで来て一旦、野呂川に下りて池山尾根を上った
とか、いいろいろ教えてやった。

私たちの前の席の最前列には初老の方が座り、しきりに、食い入る
ように山を眺め、観察していた。
とある瞬間、「私も若いころ冬の北岳に上りました」という。

話を聞いてみると、ビックリするような話が出て来た。何とあの
歴史的「北岳バットレス中央稜冬期初登攀」の時、サポート・パーティー
の一員だったという。

「青天の霹靂」、正にエエ～！！であった。

（この日記は２４日に書きました。この項、続く）



１０月２４日（木）曇・１７度　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 24 日(木)09 時 12 分 9 秒　編集済

仙水峠

下のＳ小屋は現在でも印象深い小屋だ。
その年、（２００７年）黒戸尾根隊＝１２名と北沢峠隊
＝８名で甲斐駒に集中登山だった。

甲斐駒頂上で北沢隊と合流して経過報告を受けた。
その中でＳ小屋が悲惨だったとのこと。
夕食は１０月２０日で外だったという。部屋は空いて
いたのに使わせなかったとのこと。寒くて寒くて
美味しい夕食は摂れなかったそうだ。

全員で仙水峠に下山。
Ｓ小屋で女性がトイレを借りたいと申し出た。
小屋の主人は、北沢峠が近いからそちらでやってくれという。
峠まで最低２５分掛かる。
有料でもイイから貸してくれでも、首を縦にしなかった。

その後、ビアを売って下さいといったら。
主人は、ここで私がビアを売ってそれをアンタが飲んで転んで
怪我し、それで私が訴えられたら嫌だから、売らないという。
ガガガ～である。

そしてその話は小屋手前に規制線のロープを張ってあり敷地

に入れないようにしてある。

ここの主人は何か大きな勘違いをしていると思った。
そもそも山小屋は、国に土地を借りて営業している。
敷地は自分の土地ではないのだ。国にお願いして借りている。

従って、小屋は登山者に様々な便宜を計ったり、安全を確保したり、
自然保護に目を光らせたりの義務を背負っている。

それがどうだろう、ここの主人は全くその謙虚さが感じられ
なかった。今回も小屋を通過したが、相変わらずの看板があり、
温かさが微塵も伝わってこなかった。

途中で荷揚げ中の主人と思しき方と会ったが、挨拶は
そこそこだった。

１０月２３日（水）曇・１８度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 23 日(水)04 時 39 分 29 秒

編集済

毎年

信州からリンゴを取り寄せる。
今年は「シナノスイート」。
シャキシャキ歯ごたえがよく、程よい酸味と甘味。

下手なお菓子より、よっぽどイイ。
リンゴが美味しい季節です。

今日は、１０月度・富士山ウオーキングで
樹海～本栖湖～朝霧「道の駅」です。

１０月２２日（火）晴・１６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 22 日(火)05 時 58 分 59 秒　　編集済

仙水峠

を下って行くと、見事な「テンカラ」に出会う。
ここは好きな場所で、何回来てもイイ。
今回は黒戸尾根を往復する手もあった。

事実、七条小屋に宿泊した十数名は我々以外全て
往復登山だった。往復登山の良い所は、

１．上った所を下るので・・・・安全
２．車回収がないから・・・・安価
３．小屋に荷物を置いてアタック出来る・・・・安楽
　など。

ただ、同じ所を下る「面白くなさ」は逃れられない。
今回参加の４名中、３名は甲斐駒は初めて。往復登山
でなく見聞を広げる意味でも多少、時間・経費は掛かって
も縦走をしたい。

お蔭で駒津峰の展望、仙水峠の景観、北沢の清冽な流れ、
北沢峠の原生林等、新しい経験を重ねた。それはそれで
貴重な経験だったことでしょう。

ところで、例のＳ小屋は相変わらずでした。ま、ケンカ
しても仕方がないので、水も飲まづに素通りでした。
登山者に敬遠される小屋なんて存在価値がないね！！

１０月２１日（月）晴・１６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 21 日(月)07 時 08 分 56 秒　　編集済

黒戸尾根

五合目から七条小屋に向かった。五合から少し下って本格的な梯子・鎖場が続く。
最初の長い梯子真ん中で、青いツナギを着た髪がイヤに真っ黒な方がペンチなどを使って梯子補修をしていた。

トップの私が梯子を上り始める時、一応敬意を表して「上ってイイですか？」とお声掛け。だけどその御は「・・・・」全く無言だった。

ムムムと思ったが、まあイイヤで上り始める。会ったところで、「こんにちわ」「ご苦労様です」にも、無言。「何だ、こいつワ」と思ったが我慢。

「小屋の方ではないですね？」にも無言。私は黒戸尾根は何回も上っているが殆ど冬。その御仁は妙に若く見覚えがない。後から考えたら冬はそれなりの格好だから案外、夏のイメージはない。

ところが女子が「こんにちわ」などと声を掛けたら、何とやっと口を利いて、「今日は小屋泊か」「泊ま

るなら第二小屋に入っていてくれ」と言った。ああ、この御仁がいつもの小屋番と、その時初めて分かった訳。

その後、第二小屋に来て相変わらずこまめに面倒見は良かった。女子がビアを買いに行ったら、ちゃんとコンビニ袋に入れてくれた。（他のパーティーはそのままだった！！）

そんな訳で夏の小屋番のイメージは覚えました。ま、ちょっと「不愛想（シャイ？？）」ですが、全体的には、とてもイイ方だと思います。ありがとう御座いました。（笑い）

写真下は七条小屋から鳳凰・地蔵岳。その後ろに小さく富士山が見える。

１０月２０日（日）雨・１６度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 20 日(日)06 時 58 分 40 秒

秋山

合宿Ａ隊で１８日～１９日で甲斐駒に上って来ました。
コースは、黒戸尾根＾七条小屋泊～甲斐駒～北沢峠。
天気は１８日晴れ、１９日雨～雪～曇り。参加は４名でした。

１８日、竹宇駐車場６：０１発。天気はマアマア。順調に上り、七条小屋着１１：４７だった。あと一時間早ければ北沢峠まで行きたかったが、５時間掛かるを考え断念。１８時まで延々飲んでいました。（笑い）

１９日、５：３５小雨の中出発。上は雪だろう。厳しい上りだが順調に上り、九合で万が一を考えアイゼン装着。はからずも初雪山となった。

雪は降っているが幸い無風。こんなこともあるんだと思った。ガスの向こうに頂上が見えた。２年前の冬山以来の甲斐駒だった。頂上で堅い握手。健闘を祝す。

直登ルートを下降。このころからガスが切れ北岳・仙丈・間ノ・塩見などが見え始める。北岳の雪が凄い。駒津峰からの甲斐駒は美しい。仙水峠で「テンカラ」（天然の落葉松）紅葉を楽しみ、北沢峠着。

厳しい山だったが、イイ山を終えた。

１０月１７日（木）晴・１４度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 17 日(木)05 時 46 分 30 秒

仲間が

「下の廊下」に行って来ました。
黒四から櫛平のコースです。

ま、いつものことですが、出来れば逆コースのがイイ
んじゃないかと思いますが・・・。

写真・下は立山方面でしょうか。山稜はすでに雪です。
いよいよ、今年も冬山ですね。

明日・明後日、日記休みます。

１０月１６日（水）晴・　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 16 日(水)06 時 42 分 33 秒　　編集済

猫越岳

手引頭（１０１４ｍ）のブナは健在だった。
紅葉にはちょっと早かった。

ただ、気になるのは、これほど立派なブナ林だが、林床が
綺麗過ぎて、幼木が全くない。空隙も相当の広さがあり、
種もかなり落ちているので、育ってもよいと思う。

天城連峰は他のブナ林も幼木が殆ど見られない。以前あっ
たスズ竹も全く姿を消した。原因は鹿食害かもしれない。
竹も新芽を食べられると枯死するようだ。

今夏、南ＡＬＰＳでも鹿が嫌いなハズのバイケイソウの
新芽が広大な面積で見事に食べられていた。ブナ幼木も
鹿食害の可能性は考えられる。対策は早急にである。

ワサビ農家など森が廃れれば死活問題と思うが・・・。

１０月１５日（火）晴・１８度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 15 日(火)06 時 19 分 57 秒　　編集済

猫越岳

で一人のランナーと会った。
聞けば来年のトレイル・レースの下見・訓練という。
今年も出て６００番台だったそうだ。

すでに来年の募集を行っているそうだ。
というか、ＨＰを見たら募集は昨日までで、既に締切だった。
募集人員抽選で１５００名だそうだ。

今回、手引頭まで歩いたが春より倒木が多くて何回も潜り
かなり歩き難かった。
来年、あの木をどうするか？無断で切断すれば犯罪になる。
注目すべきですね。

会った方は今日、天城峠から来たという。修善寺に下りて
「独鈷の湯」入るのが楽しみだそうだ。

あれに入るの？？って聞いたら、入ると言った。
「へ～、よく入りますね」と聞いたら、大丈夫とのこと。
度胸がイイね。

ＰＳ　その後、ＨＰを見たら、独鈷の湯は浴場として位置ずけがないので
　　入浴禁止だそうです。

１０月１３日（日）晴・１７度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 13 日(日)06 時 30 分 2 秒　　編集済

久しぶりに
涼しくて気持ちが良いね。

先日、会計をしていたら「アレ！！」と一瞬、何だか分から

ない紙幣が出て来た。

最初、「ニセ札」「五千円札」と思ったが違った。もうとっくに「廃札」と思っていた、「二千円札」だった。

まだ、あったんですね～。何か懐かしかったです。
ま、「廃札」の話は聞いていないので、勿論、流通はしていた訳。

使うのが惜しいので、コレクションにしました。（笑い）
この手のＨＰは多くて、含蓄があります。

http://www.navi-city.com/tokusyu/tokusyu_satsu.html

ちなみに、私は他に旧五百円札も持っています。
これは裏面に富士山が描かれていますが、撮影場所は、
小金沢連峰・雁ヶ腹摺山として有名です。

http://blogs.yahoo.co.jp/la_folia_side/45793655.html

１０月１２日（土）晴・２２度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 12 日(土)05 時 46 分 58 秒　　編集済

巡礼で

２２番札所・宗福寺の住職に初めてお会いしました。

まだ若い方で感じの良い方でした。

伊豆巡礼記録集を納めさせていただきました。

１０月１１日（金）曇・２２度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 11 日(金)07 時 07 分 57 秒

編集済

昨日は

１０月度・伊豆巡礼でした。コースは、楽寿園～２１番・龍沢寺～２２番・宗福寺～山中城跡～函南原生林～熱海峠～日金山。天気は高温・快晴・無風。参加は２８名。

いわゆる「箱根越え」は、伊豆巡礼で一番の難所。四国お遍路でいえば「遍路ころがし」。標高差＝約７２０m、距離＝約２５Ｋm、時間＝実働７H。昨日は１０月中旬と思えない高温で、標高差、距離もさることながら、気温とも戦いもあった。

コース半分の山中城跡からは自動車道を行かないので、途中バスのピックアップが出来ない。従ってここで「歩いて行くか行かないか」の大きな判断・決断がある。また、今回は函南原生林から県道に上がらないで、熱海峠旧道までの林道を歩いた。ここは静かで危険がなく林間で涼しい。

結局、日金山まで丁度２時間半だった。県道時間とほぼ同じ。今後、静かで安全な分、こちらのが良いだろう。しかし、参加者の三分の一はバス利用。何年やってもここの厳しさは変わらない。

最後の上りは久しぶりに最後尾でＴさんの面倒を見ながら歩いた。歩いて頑張りぬいた皆さんの達成感は最大でした。

１０月１０日（木）晴・２２度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 9 日(水)16 時 03 分 49 秒

編集済

先日

小下田の最福寺に行きましたが、この寺の山号は「金峰山」。
老師に読み・言われ、を聞きましたが分からなかった。

「金峰山」は山の場合、長野県は「きんぽうさん」、山梨は「きんぷさん」と呼び名が違う。これは、エベレスト・サガルマータ・チョモランマと世界最高峰を三つの呼び名があると同じ。

ただ、最福寺は分からない。土肥が近いから金山と関係があるかも知れない。
本堂の天井には漆喰で昇り龍が描かれているが、ちょっと変わった感じがする龍だった。周りのボタンみたいな花は、蓮

の花だそうです。

全体的に他にない一見に値するモノだと思います。宝物館の
展示物も興味深いモノが多い。無料で見ることが出来ます。

この日記は、９日に書きました。今日は、１０月度・伊豆
巡礼で、箱根越えです。

１０月９日（水）曇・２２度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 9 日(水)09 時 48 分 17 秒　　編集済

先日
福井のWさんに「マコモダケ」を送っていただいた。サックとした独特の食感。八百屋には売っていないので貴重品です。味噌汁・炒めるがイイです。秋の味覚ですね。

１０月８日（火）晴・２４度　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 8 日(火)05 時 55 分 17 秒　編集済

お中道を
一時間ほど歩くと「主杖流し（執杖流しでもＯＫのような）」に着く。「主杖」の意味はハッキリしないようだ。
・・・そもそも執杖流し、又は主杖流しと呼ばれる意味は、溶岩が流れた様子が富士山からの尊いお言葉（お知らせ）を連想させるものだったからしい。まったくの受け売りだが、執杖も主杖も広辞苑に載っていないので、本当のところは分からない・・・某ＨＰから

見れば、見事な溶岩のスラブが延々と続いている。上ってみると乾いていれば全く滑らず、フリクッションは十分利く。これを上って頂上に至る登山を結構やっているようだ。
お中道は標高約２５００ｍだから、頂上まで約１２７６ｍ。案外上り易いかもです。幅は小さいですが、これと同じような沢が東面にもありました。（写真・下）チャンスがあれば一度、主杖流しからアタックしたいですね。

ＰＳ　昨日は確かに筋肉痛などは有りませんでしたが、全身を覆う倦怠感で畑もヤル意欲が無かったです。今朝はまあまあ良い状態です。１１時間のダメージは大きかったです。

１０月７日（月）２３度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 7 日(月)06 時 22 分 55 秒

編集済

昨日は富士山お中道一周日帰りでした。天気は晴れ。参加は４名。

富士宮口発５：２０。大沢崩れまでは、昨年下見をしてあるので、楽勝と思いきや、不動沢あたりで道を失い「藪漕ぎ」を強いられた。

大沢崩れは、標高２０６０ｍに工事用の梯子があり、問題なく渡れた。ただ、お助け小屋まで約４００ｍは厳しい上りだった。ここで、ジゴボウを少しゲット。

ここからスバルライン五合目まで単調で長い。吉田登山道まで足を伸ばし「コノスジ道」に入る。ここも昨年下見済みで問題なかった。これを抜けると須走口新六合に出る。
この後は、須走口・瀬戸館まで厳しい上りで、その先から古のお中道を宝永山まで辿る。ここは今コースで一番だった。正に「天空の散歩道」の感。

宝永山で大休止後、最後の頑張りで富士宮新六合着。あとは少しの下りで駐車場着。長い長い一日が終わった。歩数＝４３４００歩、距離＝約３０Ｋｍ、時間は、１１時間５分でした。

これで長年の懸案を達成しましたが、二度とやりた
くない山が一つ増えたことも事実です。（笑い）
ＰＳ　それでも今朝は筋肉痛・膝鈍痛はないです。

１０月５日（土）曇・２０度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 5 日(土)06 時 39 分 42 秒

最福寺
の欄干に先日の「普山式」に使った席札が貼ってあった。この札は式の寺式の役員名という。

つまり、司会者・書記・会計・配膳・接待・・・とかで、その係りの方がこの札の下に座るという。
ま、ようするに、お寺も普通の会社と同じことをやっている訳ですね。

１０月４日（金）曇・２０度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 4 日(金)06 時 30 分 40 秒　　編集済

伊豆

ウオーキングは小下田の最福寺で昼食・休憩だった。この寺は、伊豆八十八札所ではないが、以前から気になる寺だった。

八十八札所は、安良里の８６番・大聖寺から土肥の８７番・安楽寺まで長い距離札所がない。小下田辺りであれば丁度良いと以前から思っていたが、該当すればこの寺しかない。
寺は現在、曹洞宗だが昔は真言宗だった。歴史も相当古い。そう考えれば、この寺が札所でも自然だが、何故なっていないのか不明かつ不思議である。

住職（老師）は、廣澤智純氏。いい方である。聞けば先日「普山式」を行ったという。伊豆の曹洞宗の老師が多く参列したそうだ。

中には、修禅寺の吉野老師、定林寺の武藤老師も参列したという。同じ宗派だから当たり前と思えば当たり前だが皆、繋がりがあるんですね。これでは悪いことは出来ません。（笑い）

１０月３日（木）晴・２１度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 3 日(木)07 時 09 分 14 秒

昨日の
伊豆一周ウオーキングは、安良里～黄金崎～宇久須～恋人岬～小下田～土肥地先でした。天気は快晴・高温・無風。参加は４３名。

前回最終の宇久須から出発。台風の影響で曇りかと思いきや朝から高温で暑い。長い長い９６４ｍの黄金崎トンネルを抜けて、黄金崎着。黄金色の岩肌が美しい。崎の下はダイビングスポット。海は限りなくキレイ。

ここから恋人岬まで歩く。舗装道路はモーレツに暑い。今日は３０度を越えたか。昼食は、近くの最福寺でいただく。ここは伊豆札所ではないが、老師はとても温かい方。

午後は再び岬に戻る。岬では、参加者のオジ・オバが仮婚式で笑わせるが、若いお客に迷惑なので、早々に退散し、西伊豆歩道を経て小下田着。

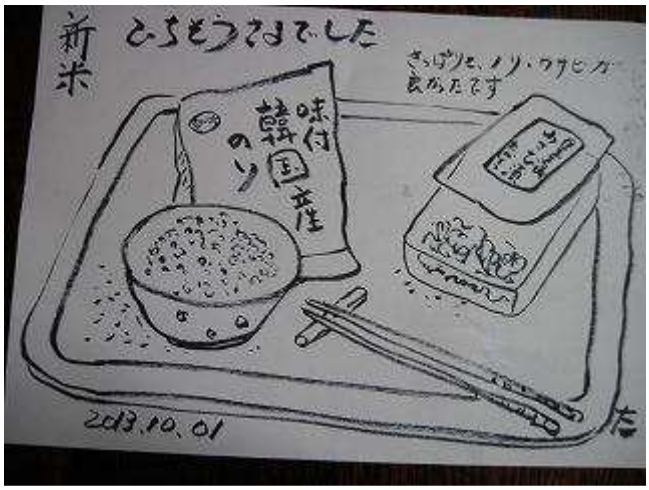
ここから旧道を歩き、土肥地先まで足を伸ばした。暑い一日でしたが、皆さん良く頑張りました。温泉は、上船原の「ほたる」安価で案外良かった。

１０月２日（水）晴・２０度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 2 日(水)03 時 33 分 44 秒

ある方から
新米をいただきました。当然、美味しかったです。御馳走様でした。

今日は、１０月度・伊豆一周ウオーキングです。



１０月１日（火）雨・２０度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 10 月 1 日(火)05 時 58 分 1 秒　　編集済

久しぶりに
三国山稜で岩田さんの看板を見た。大分古くなりペンキは部分的に剥げていた。しばらく会っていませんが、お元気でしょうかね。ハイキング中、何かと話題でした。以下、事件の顛末。

道標切断:元小山町議の実刑破棄し猶予判決－－東京高裁　／静岡
毎日新聞　2013 年 08 月 15 日　地方版

執行猶予中、小山町設置の登山道の道標を切断した器物損壊罪に問われた元同町議、岩田澗泉（たにいずみ）被告（８７）の控訴審判決で、東京高裁は１４日、懲役６月の実刑とした１審・静岡地裁沼津支部判決を破棄し、懲役１０月、執行猶予４年を言い渡した。

道標作製で定評がある岩田被告は、公判で「町の道標が間違っていた」と動機を主張。金谷暁裁判長は再度の執行猶予とした理由について「被告の指摘を町が受け入れるようになり再犯の恐れは低下した」と述べた。

判決などによると、岩田被告は２０１２年７月１０日ごろ、同町の登山道「富士箱根トレイル」上の道標をのこぎりで切断した。

岩田被告が１１年にも同町観光案内板にペンキで×印を付けて同罪で猶予刑を受けていたため、同支部は今年３月、切断は「反省の情に乏しい」と実刑にする一方、「目的は不当と言えない」としていた。【西嶋正信】・・・・関連ＨＰから

９月３０日（月）晴・１６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 30 日(月)07 時 23 分 2 秒　　編集済

昨日は
９月度・さわやかハイキングで山中湖・三国山稜でした。
天気は晴れ。参加は１７名。

３台の車で出発。１台を籠坂峠に置いて、他は山中湖畔に駐車。ここから、三国峠車道入り口まで約２０分掛かった。
ひと上りでパノラマ台。素晴らしい展望。ただ、殆ど車で来る方。カヤトの道を上ると、鉄砲木の頭。ここには山中諏訪神社奥社があった。
サンショウバラの多い道を下ると三国峠。何とここは４０年振りだ。峠から三国山はブナが多い。道は砂礫で荒れている。

ここから起伏が少ない単調な山道を進めば大洞山。下って展望が良いアザミ平。ここで昼食。恒例の「焼き物」で焼き手のＫと私は忙しい。今日は運転手なのでビアは、ノン・アルコール。（笑い）

午後は立山に向かう。展望台の写真は逆光で顔は真っ黒。予定ではここから全員籠坂峠だったが、須走・紅富台への道が整備されていたので、Ｏ、Ｈさん、私の運転手以外は、こちらを下る。

３名は歩き易い下山道を籠坂峠に下りる。途中、須走の町から花の都公園往復のオジサンに会った。車道よりこちらがイイそうだ。世の中、やっぱり好きな方がいるものです。

９月２９日（日）晴・１４度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 29 日(日)04 時 46 分 16 秒　　編集済

先日、
比叡山・千日回峰を２度達成した酒井雄哉（さかい・ゆうさい）さんが８７歳で亡くなった。織田信長が比叡山焼き討ち後、２度の千日回峰を達成したのは酒井さんを含め、３名しかいないという。

千日回峰は、現在日本に残っている、いわゆる「修行」で最高峰に位置する超厳しい修行で過去、何人か命を落としている。
酒井さんは、それを２回行っている。歩行距離は地球一周分になるそうだ。最も厳しい部分が９日間の「堂入り」の行で、断食・断水・不眠・不臥で、１０万回の不動明王の真言を唱えるという。

ちなみに、私たちも巡礼で唱える不動明王の真言は、「のうまく　さんまんだ　ばざら　だん　せんだまかろしゃだ　そわたや　うんたらた　かんまん」で、数ある真言の中で一番長いものだ。

以前、酒井さんの本を読んで印象的だったのが、「二回の千日回峰で何か得ましたか？」の質問に、「何も得るものはなかった」と答えた。
「何も得るものがない」を「得た」・・・。超達観・超悟りの言葉ではないだろうか。生前に一度、お会いしたかった方です。

今日は、さわやかハイキングで、山中湖・三国山稜です。

９月２８日（土）晴・１３度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 28 日(土)06 時 50 分 36 秒　　編集済

今朝は、寒いくらいです。
今、鳴沢村では「キャベツ」の出荷が最盛期。

畑で収穫しすぐ箱詰。畑脇のパレットに積み上げ、近くのトラックに積み込む。トラックは、午前中に各地に出発し、その日に市場に到着後、翌日、店・スーパーに並ぶ。
見れば丸々した超立派なキャベツ。ただ、残念ながら農薬は使いまくっている。

経験的に、キャベツは超虫食い野菜。蝶が青虫の卵を産み青虫がキャベツを食いまくる。
だから、私たちは苗の時期から防虫網で覆って、産卵を防ぐ。広大な畑では網は所詮、無理な話。

一見美味しそうなキャベツですが、農薬まみれは、辛いですね。残留農薬の影響は、まだハッキリしてませんが、無農薬に越したことはありません。

畑をやっているのは、美味しい野菜を食べるがありますが、無農薬野菜を食すが主な目的です。

９月２７日（金）晴・１６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 26 日(木)17 時 25 分 3 秒　　編集済

一昨日は
９月度・富士山一周ウオーキングで、河口湖～溶岩樹形～鳴沢道の駅ーバスー舟津・胎内樹形ーバスー道の駅～鳴沢氷穴～富岳風穴でした。天気は時々小雨～晴れ。参加は２７名。

毎年この時期、鳴沢村（エエ～、まだ村があった！！？？ですね）に来ると楽しみがある。
鳴沢村は、写真・上のイチイの生け垣が多い。
で、この時期、イチイの実が熟れる。皆でゾロゾロ歩きながら、そのイチイの熟れた実を頂く訳。
（勿論、持ち主の許可は頂いていませんが・・・）

実は、この実が美味しい。超甘くスイーツなのです。ただ、私は今日ネットで見るまで知らなかったが、果肉以外は、「タキシン」という、有害物があるらしい。
・・・・・タキシンには血圧低下、徐脈、心停止作用があります・・・・・ネットから。

ただ、今まで何回も（今回も）頂いていますが、問題は発生していない。
待てよ、午前中、妙に「ふらついた」が、あれがそうかな

？？！！（笑い・ただの歳か？？）

ま、一応知識として、頭に入れときましょう！！！しかし、この鳴沢村の看板は、エグイね～。
町内でなく村内？？！！

この日記は、２６日に書きました。

９月２６日（木）晴・１８度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 26 日(木)06 時 50 分 56 秒

阿弥陀岳
の花は、すでに殆どありませんでした。当薬竜胆が枯れていたくらい。花ではないが、裏縞躑躅の紅葉が見ごろだった。
御小屋尾根中部では、白玉の木の実が、沢山実っていた。下部では、松虫草・鳥兜程度。

秋から冬は近いですね。

９月２５日（水）晴・２０度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 25 日(水)04 時 00 分 12 秒　　編集済

阿弥陀岳
御小屋尾根を下山時、下部で茸の「ジゴボウ＝俗名」（花猪口・はないぐち＝学名）を採った。

私が昔採ったことがあり、何となくイメージを持っていた。傘は茶色でズングリムックリしている、感じである。食べれる茸は形が良い。
まあダメもとで、兎に角ある程度採って、鉢巻道路わきのキノコ屋さんで判別して貰った。

店の主人は全くイヤな顔をせず・・・・この場合、多くの人は嫌な顔をするものだが・・・・快く観てくれ、採ったものは全て「ジゴボウ」ということが分かった。ついでに、タマゴダケと猛毒のベニテングダケの違いも教わった。

で今朝、味噌汁でいただきました。美味しかった・・・・。サイコーでした。このキノコは「シメジ」より美味しいといわれるくらいで、味には定評がある。

Ｉ君もＨさんも持って行った。さぞ、美味しかったでしょうね。
よかったよかった。

さて、今日は９月度・富士山一周ウオ―キングです。月曜日が
休日で、危うく１日ズレるところでした。（笑い）

９月２４日（火）晴・１７度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 24 日(火)07 時 01 分 53 秒

昨日は
阿弥陀岳・中央稜でした。天気は晴れ。参加は４名。前夜隊２名と当日隊２名は、６：３０小淵沢道の駅で合流後、１台で舟山十字路着。出発６：５５。途中、ジゴボウ（花猪口）採りのオジサン数名に会う。我々も帰りが楽しみ。

標高１８９４ｍから中央稜取り付き。まず、標高約２１００ｍまで物凄い上りが待っていた。ここから暫く快適な上りだが、標高約２２００ｍ付近から、またまた凄い上り。前夜隊は十分な睡眠で体調は万全。当日隊は、若いが流石に３時起床では厳しそう。Ｉ君は頂上で「もう、帰ろうかと思った」くらいだったとか。

とにかくこの尾根は、標高約１６２０ｍの舟山十字路から頂上２８０５ｍまで短く一直線の超合理的ルート。その分、急な上りとなっている。頂上着１０：１１。結局、標高差１１８５ｍを３時間１６分だった。前回、２００７年９月は、６年経過しているが、３時間２０分だから、案外変わらないものだ。

下山は、御小屋尾根をジゴボウを採りながら行く。まあまあ、採れた。味噌汁が楽しみだ。

９月２２日（日）晴・２０度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 22 日(日)06 時 55 分 10 秒

先日
三ッ峠山荘で昼食時、仲間が山荘から買って来たビアが最近あまり見ないラベルだった。ネットでは、しっかり出ていましたが・・・。

明日は、日記休みます。

９月２１日（土）晴・１９度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 21 日(土)07 時 14 分 14 秒　　編集済

昨日の
朝日新聞夕刊に、「飼い犬からマダニウイルス」があった。記事によると、
マダニを介してうつるウイルス病（重症熱性血小板減少症候群）の患者が見つかった１３県のうち３県で、地域の飼い犬もウイルスに感染していることが分かった。
ただ、犬の場合感染して発病した報告は現在ない。また、犬から人間に感染した例は今の所ない、そうだ。（抜粋）

マダニ患者が見つかった１３県は兵庫以西。現在、兵庫より東は見つかっていない。が、注意に越したことはない。私も過去、伊豆と白神で２回咬まれたことがある。
ただ、それがマダニかどうかは不明。伊豆の場合、２～３日後、体に食い込んでいるのが見つかった。
・・・・・「これで俺もダニー・ボーイになれた」何て言って
いられませんね・・・・（笑い）

９月２０日（金）晴・１７度　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 20 日(金)06 時 46 分 2 秒　編集済

山の会
の機関誌「登山時報」に「マダニに咬まれて入院顛末記」があった。被害者は男性。仔細は記事をスキャンして送りしますが、概略は要するに山でトイレの時（大か小かは記載がないが、多分小だと思う）咬まれたらしい。
ただ、小で体に侵入されるほど露出するだろうか？？？の疑問はあったが、どうやらクライミング中でハーネスがあって問題だったようだ。

だから、女性がキジ打ち、お花摘みな場合、特に注意が必要と同時に工夫いる。。そうなると鎌を持参し、あらかじめ雑草を刈り取ることが必要かも？？！！

いずれにしても、他人事ではない！！でしょうね。

９月１９日（木）晴・１４度　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 19 日(木)05 時 51 分 57 秒　編集済

豊さま、承知致しました。ありがとう。

今朝は寒い位で、長ズボン・長袖・靴下です。富士山もボチボチ初冠雪かもしれません。ちなみに初冠雪と初雪は違うものです。
過日、箱根国一を変わったスタイルで上っている方がいた。最近、こういう方を見ると、どうも興味深々になる。

わざわざ車をターンさせ突撃インタビューを敢行。聞けば京都の方で東京まで歩いて、文科省前で、拉致問題早期解決・北朝鮮学校学費差別反対を訴えるという。特に組織的な運動でなく、個人で動いているそうだ。

ルートによるが、京都～東京は約５００Ｋｍ。三島まで約４００Ｋｍ。ここまで１０日掛かったという。昨日は何と６０Ｋｍ歩いたそうだ。だから、今週中には東京着の予定。

靴を見たら、ゴム製のサンダルだった。う～ん、これでよく歩けるな～。サングラスを外したら、意外と優しいお顔でした。１６時過ぎだったが、今日は小田原まで頑張るという。名刺を渡し、健闘を願い分かれました。

涸沢　　返信・引用

投稿者：**豊くん**　投稿日：2013 年 9 月 18 日(水)08 時 14 分 24 秒

「Ｓ」がダブっているようなのでハンドルネームを変えました。

涸沢ヒュッテですが生ビアは 800 円、おでんは 700 円、セットだと 100 円安い 1400 円也でした（当然セットで頼みました）。涸沢初見参のお二人がおごってくれました。飲み放題制ではないので追加はもちろん自前です。hahaha

翌日はせめて北穂ピストンしたかったのですが下り坂の天候を考慮して自重し、上高地に下りました。小梨平のキャビンも上高地温泉も良かったですよ

やはり涸沢は別天地ですね。何回でも行きたいです。

９月１８日（水）晴・１５度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 18 日(水)07 時 49 分 29 秒　　編集済

連休に
仲間が台風をおして涸沢に行きました。雨で何処も上りませんでしたが、それなりに収穫はあったそうです。

涸沢の生ビアとオデンはサイコーだったそうです。その情熱には頭が下がりますね。ご苦労様でした。

９月１７日（火）晴・１７度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 17 日(火)06 時 56 分 51 秒　　編集済

台風一過
ですか。さわやかな朝です。１０台の気温は初観測です。

映画は元々好きでよく観る。古くは三島・広小路にあった洋画専門館「セントラル」（だったと思う？？）で学校の帰りによく観た。

以前も書いたが、「アフリカの星のボレロ」「禁じられた遊び」「第三の男」などは、ここで観た。ま、当時は当然白黒だった。フイルムだから時々、切れたりする。そうすると皆、タバコを吸いだした。当時、いくらぐらいだったかよく覚えていないが、現在の様に一本立てでなく最低二本はやった。一本が面白くない場合、入る時間の調整があった。

ただ、裏上映も時々掘り出し物に当たる場合もある。「わらの犬」などがそうだった。この映画、１９７２年公開だが、結構古いな～。

最近は１０００－で観れるので有難い。ただ、安いと「駄作」も観てしまうので注意。この辺は中々観たいモノが来ない。最低、静岡まで行かないと駄目。
先輩のＴさんは、電車に乗ってトーキョーによく観に行く。この方は本物です。私も８０歳になったらそうしたいね。

最近はＢＳで１３：００から毎日やる映画を観ている。古いモノが多いが、時々、掘り出し物がある。昨日は、ドリフターズの「なにはなくても全員集合」だった。馬鹿馬鹿しいが、それなりに案外面白かった。

９月１６日（月）台風

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 16 日(月)04 時 43 分 17 秒

編集済

結局
連休は、台風で登山計画は全てオジャンだった。先日巡礼時、韮山地先のイチゴ農家を見た。ビニールハウスは一万本植えるそうだ。

ハウスには苗が見事に並んでいた。中には水耕栽培もあった。

９月１４日（土）曇・２５度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 14 日(土)06 時 53 分 10 秒

編集済

一昨日
伊豆巡礼で清水町長伏に来ると、変わった名前の会社があった。それは、「山登」だった。

ネットでは、「やまと」と読むそうだ。プレス関係の仕事のようだ。まさか、社長さんが登山家とか、従業員が山屋ばかり
とか？？！！
でも、なかなかイイ名前ではないでしょうか。（笑い）

明日からの山は、台風で×か？？

９月１２日（木）晴・２３度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 12 日(木)04 時 02 分 45 秒　　編集済

Ｓさま

再返信、ありがとうございます。田牛ですか。何か懐かしいですね。

そういえば、「タバコ」が物議でした。確かに「喫煙シーン」が多かった。あれも演出でしょう。
観ていて「煙かった」です。（笑い）私が印象的だったのは、最後のユーミンの歌だけでした・・・。

今日は、９月度・伊豆巡礼です。
長岡・江間から三島・広小路です。

Re: ９月１１日（水）晴・２２度 返信・引用

投稿者：S　投稿日：2013 年 9 月 11 日(水)22 時 53 分 29 秒

> No.2155[元記事へ]

たかチャンさんへのお返事です

> 観ましたか？？時間とお金が 無駄だった？？！！いや、「つまらない」が分かったことが、「面白かった」 ですか？？

小田原に用事があって行った時に、映画館で観ました。零戦」と「風立ちぬ」のどちらに作品の主眼があるのか、よく分かりませんでした。わくわくする感じが何もなかったんですもの。

一番良かったのは、冒頭の部分で少年がサイドバルブ２気筒エンジンを動力とする飛行機で飛び立つ場面かな。それが想像の場面であることが分かったときには（なあ～んだ。）と思いましたけどね。

「紅の豚」を、もいっかい観ようっと。

（借用画像はポルコの隠れ家です。下田市田牛＝「とうじ」の竜宮洞に似ていると言われています）

９月１１日（水）晴・２２度 返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 11 日(水)05 時 49 分 56 秒

Ｓさま

投稿、有難うございます。観ましたか？？時間とお金が
無駄だった？？！！

いや、「つまらない」が分かったことが、「面白かった」ですか？？

いずれにしろ、「引退」は、ネタ不足かも。ネット評では、「良かった」「面白い」があります。
結局、観て何かを想像出来るか否かのの問題ですが、何もイメージ出来ないのは、駄作・愚作・失敗作でしょう。

予告編で「永遠の０」が出ました。あれだけの内容の本を二時間で観せるのは、元々、無理がある。本のイメージを壊したくないなら、観ないのがイイ。

ま、出来れば「映画化」しないのがベスト。作るなら「ベン・ハー」「クレオパトラ」クラスで作って貰いたいネ？？！！

写真は、Ｋさん提供。

Re: ９月１０日（火）晴・２２度 返信・引用

投稿者：S　投稿日：2013 年 9 月 10 日(火)23 時 39 分 30 秒

> No.2153[元記事へ]

たかチャンさんへのお返事です。

結論は、独断と偏見ですが、全く「面白くなかった私も同感です。せっかく時間と労力を使って作った作品なのに、もったいないなと思いました。作者だけが自己完結している感じ。

声優の失敗はいつもの通り。声優はやっぱりプロに任せるべきです。有名人を起用して成功したのは、「ハウルの動く城」のキムタクだけだと思います。「トトロ」の父さんなんか、大失敗でしたもの。

ジブリの飛行機物なら、「紅の豚」がピカ一です。
観ていてわくわくします。
（やはりジーナの声が年寄りっぽいのが唯一の失敗であるのは、もう仕方ないですけど）

９月１０日（火）晴・２２度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 10 日(火)06 時 22 分 0 秒　　編集済

このところ
０戦に関わる本＝「永遠の０」「海賊と呼ばれた男」を読んだこともあって、宮崎　駿の「風たちぬ」を観た。
テレビ・劇場で宮崎作品を見るのは初めて。もともと、漫画はほとんど見ない。勿論、期待はして行った。劇場は平日だがまあまあの入り。

結論は、独断と偏見ですが、全く「面白くなかった」。何を言わんとしているか分からない。最初から物語が読めず、一時間で帰りたくなった。登場人物の表情が皆同じで気持ち悪い。主人公の声優が超下手。漫画だから仕方がないかもだが、色が極彩色で不自然。０戦が０戦でない。。途中でドイツ語のセリフがあるが、字幕を出せ～。最後に設計者・堀越二郎と作家の堀辰雄に敬意をのテロップが流れるが、これも分からない。

あれでよく、ベネチア映画祭に出品した、です。受賞出来なかったのは当然でしょう。外国の方では更に理解が難しいのでは。我が息子もほぼ同意見でした。

漫画でファンタジーの表現は出来るが、ノンフィクションを漫画で表現は限界があるのでは。以上、スミマセン。独断と偏見でした。

写真は、先日の金時山・新柴コース登山道水路切りです。
写真はＫさん提供です。

９月９日（月）晴・２３度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 9 日(月)06 時 59 分 50 秒　　編集済

今朝は涼しい。
一雨ごとに、秋にまっしぐら・・・ですね。

金時山の帰りに野生の「ミョウガ」を大量にゲットした。これは先週、新柴集落で地元のババさまが採っていたのを見て学習したわけ。
ババさま曰く、「ミョウガは夏もの、秋ものがあって、後者のがうまい！！」
で、採ってみると株が大きいのがミョウガも大きかった。ただ、大きなものは、ちょっとエゴく、小さいのがミルい。

ミョウガは以前、畑でも作っていたが、あまり日当たりを好まないのでいつのまにか駄目になった。山間部の日蔭でやや湿ったところが好きなようだ。
味噌和えもイイが、みそ汁もサイコ―。昔から、これを食べ過ぎると「馬鹿になる」と言われる。元々、大したことはないから問題はないが、秋ナスと同じで、美味しいものを、他人に食わせない方策だろう。

今度、山で採ってみて下さい。

９月８日（日）雨・２５度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 8 日(日)08 時 51 分 0 秒

編集済

雨の日曜日。何かホッとするような・・・。
昨日は金時山でした。二週連続で新柴コース。天気は下部晴れ、上部霧ション。参加は３名。

昨日は珍しく登山者１名に会いました。頂上のベンチで偶然一緒でした。神奈川から電車で来たそうです。着ていたＴシャツを覚えていて分かりました。こんな時、「顔」は案外、覚えていないもの。

昨日の目的は、新柴コースの下刈りと登山道の水路整備。下刈りは鎌、水路はトグワ。
登山道の水路は、登山道に雨水が流れ浸食されないように直角に水路を切る作業。

この作業は、ザックを背負って腰を曲げての作業でななかな骨が折れる。今日、雨だったのでグットタイミング。ま、良かったでしょう。

９月７日（土）晴・２５度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 7 日(土)04 時 21 分 46 秒

これは何でしょう。
「ＴＯＫＹＯ２０２０」オリンピック誘致ピンバッチだそうです。

伊豆ウオーキングのＴさんが持っていた。何でも「内閣府」から頂いたそうです。ネットで見たら、非売品だが、１１０－でオークに掛けられている。

ま、その辺が面白いところだが・・・。それにしても、内閣府とつながりがある訳ですね・・・。

明日、阿弥陀岳中央稜でしたが、雨のため今日、
金時山です。

９月６日（金）晴・２２度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 6 日(金)06 時 33 分 14 秒　　編集済

今朝はちょっと涼しい。
暑い夏だったが、百田尚樹の「海賊と呼ばれた男」講談社上・下、共１６００－を読んだ。

石油元売会社「出光興産」の創業者・出光佐三（いでみつ・さぞう）（１９８１年没）と、1953 年（昭和 28 年）にイランから石油を輸入した「日章丸事件」をモデルとした小説「海賊とよばれた男」
前回読んだ「永遠の０（ゼロ）」も面白かったが、本作も負けず劣らずサイコ―に読ませる。

兎に角、主人公は「熱く・厚く・篤い」人だ。特筆すべきは、経営する会社は「タイムカードなし、出勤簿なし、斬首もなし、組合もなし」（その後、勤務管理・定年制は導入）なぜならば、「社員を信頼しているから、必要ない」と断言する。

子会社が海難事故で３６＋２＋２名亡くなる。この時、本社も子会社の分け隔てなく、未亡人の就職の世話、遺児たちの養育費・教育費のすべてを面倒見た。

タンカーの日章丸が革命＋革命前のイランから原油を運ぶ下りは圧巻だ。正に「手に汗を握る」とはこのことだろう。この章では、イギリス・アメリカがいかに汚い国かが理解できる。「石油」のために国民を食い物にする両国。現在もイスラムの情報が少ない日本は西側の情報を鵜呑みに出来ない。

いずれにしろ、これほどの人物は今後、日本には現れないだろう。この人物の、「生き方・行き方」は、現在の日本にはないもので、すでに郷愁に近いものかもしれない。

最後に、中国戦線で「永遠の０」主人公の宮部と遭遇する場面がある。思わず「ニヤリ」とさせられるが、そんな意味では、先に「永遠・・・」を読むべきか。兎に角、作家・百田尚樹には脱帽です。

９月５日（木）曇・２７度　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 5 日(木)10 時 38 分 22 秒

今朝は

カミナリで遅くなりました。

昨日は、伊豆一周ウオーキングで浮島・燈明ヶ崎～田子～今山歩道～安良里。天気は、晴～雨～晴。参加は３９名。
悩ましい天気だったが実施。浮島着時は晴れだったが、俄かに雨が降り出した。４５分ほど続いたが、田子に着くころ止んで以後降らなかった。

雨の燈明ヶ崎は、墨絵のようで、それなりに良かった。田子から今山歩道・旧県道班に分かれる。今山歩道は先般の大雨で荒れていて、ここで問題が発生した。

今山歩道班は今山分岐で昼食。今山は草ボウボウで歩けなかった。ここから安良里港まで案外長い。しかも、モーレツに蒸し暑く閉口。

安良里で終了。温泉は、クリスタル・ビューホテル。以前と違い、サービスが良くなった。問題は大きな問題でなく良かった。

９月４日（水）晴・涼　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 4 日(水)03 時 20 分 57 秒　　編集済

先日
乙女峠から悪路を仙石原に下った。国道に出たところにレンタカー屋さんがあった。一番手前に「スカイラインＧＴＲ」が置いてあった。
色はシルバーメタ。何年式だろうか？？懐かしかった。

昔、スカイブルーの２０００ＧＴがあった。これは良かった。ロングノーズで欲しかった。当時、中古で１３０万くらいだったか？？しかし、私の薄給ではとても無理でした。
あのスカイブルーの２０００ＧＴは全く見ない。もうないだろうか？？

今日は９月度・伊豆ウ―キングです。

９月３日（火）晴・２５度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 3 日(火)06 時 02 分 38 秒　　編集済

金時山

新柴コース上部で「山ヒル」を見た。よくみたらすぐ近くにミミズがいて、それをヒルが狙っていた。

逃げるミミズにヒルが背後から襲い口を開け飲み込み始めた。ヒルに口があるのは初めて見たが、決して小さなミミズでなかったのに、全部飲み込むのに約３０秒ほど。

飲み込んだヒルの腹は見事にプックリ太っていた。イヤ～、驚きました。ヒルがミミズを食べるとは、初めて知りました。

（写真が小さくて、分かり難いね）

９月２日（月）晴・２６度

返信・引用

投稿者：たかチャン　投稿日：2013 年 9 月 2 日(月)06 時 57 分 15 秒

編集済

昨日は
金時山で「金時山を一日で二回楽しむ方法」でした。天気は霧・晴。参加は一人。

以前から気になっていたコースを実施。つまり、一日で金時山を二回上る一筆書き（新柴コースのみ重複）コース。

足柄駅から新柴コース（あらしば）を上る。モーレツに暑い。ただここは北面なので少しはイイ。しかも、登山者は南面と違い誰もいない。

９時過ぎ一回目の金時山登頂。そのまま乙女峠に下る。更に暑くなった。金時神社までの道は歩き難い道。神社から再び金時山へ向かう。下山者に先ほど乙女峠の下りで会った方に再会。

１２：００丁度、二回目の金時山登頂。簡単な昼食で下山。兎に角、人が多すぎて辟易。新柴コースに入れば静寂そのもの。風だけがゴーゴー。

１３：５１の足柄駅発御殿場線を目指すが、上った時間からみるとギリギリ。新柴の陸橋から走る。登山靴では厳しい。軽トラが来れば乗せてもらうだが来ない。

上り電車（松田方面）の電車が来た。１３：５０下り（沼津方面）が入って来た。駅まであと１００ｍ。しかし、炎天下でバテバテ。電車は虚しくすぐ横を行ってしまった。車掌が窓から首を出し、馬鹿野郎（笑っているように）見えた。

こうなればジタバタしても始まらない。駅トイレで着替えて例のラーメン屋「喜の味」に行く。二人のババさんは「いつも皆で来るね」と覚えていてくれた。で、生５００－×１・ビア大びん６００－×１＝１１００－やってしまった。

ま、ゆっくり出来て良かったか。それにしても御殿場線は１４時台の電車がないのは、どうしてだといいたいですね。ラーメン屋と結託か？？！！（笑い）

ともあれ、「金時山を一日で二回楽しむ方法」は無事終わった。データはＨＰに上げました。

９月１日（日）晴・２７度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 9 月 1 日(日)04 時 57 分 34 秒　　編集済

先日の
ウオーキングで、忍野のモロコシを皆さん購入した。いつも寄る店は同じところ。
忍野は標高が高いので美味しいモロコシが出来る。

店の主人は忍野村忍草（しぼくさ）の渡辺さん。いつも笑顔で迎えてくれる。今回私は３回目で顔を覚えていてくれ、１０本サービスで貰った。

皆には生のモロコシを振舞ってくれた。会員は生のモロコシは初めてだったが、「美味しい美味しい」を連発。モロコシは、朝どりの丸々太ったのが一本百円。これは絶対安い。茹でて冷凍にすれば半年以上は利用出来る。

渡辺さんに感謝感謝ですね。

８月３１日（土）晴・２８度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 31 日(土)06 時 06 分 56 秒

編集済

写真

の二人の方は、我々が北口本宮・浅間神社で昼食を摂っていた時、神社の方々一行とお祓いを済ませて帰ってきた方。

いまどき珍しい格好をしていたので写真を撮らせて貰った。この衣装は昔、御師たちが登山時、着

ていた「行衣」（ぎょうい・ぎょうえ）と呼ばれるもの。

昨日紹介した権禰宜の小沢さんに聞いたら。一人の方が（だぶん左の方？？）御師の免許？を取得し、皆さんを富士登山に連れていっている、とのことだった。

ま、現在のスポーツ的登山もイイが、たまには昔のことを学び、完全に無理としても昔のスタイルを踏襲して上るのも悪くないかと、思った次第です。

ネットでは、ツアーが沢山ある。
東京から往復、二泊三日で４３８００－とのことです。

http://www.office-ten.net/j/fuji/tohai/2013-2-3shin.html

８月３０日（金）晴・２７度　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 30 日(金)07 時 02 分 28 秒　編集済

今回も
北口本宮・浅間神社で神社説明を受けた。説明は無料だが１０日前に書面でお願いする必要がある。
今回は権禰宜の小沢さんがやってくれた。私はこの方の説明を受けるのは３回目。

小沢さんはここの権禰宜（ごんねぎ）。神社で権禰宜は普通の職員のようだ。聞けば小沢さんは富士吉田市の「御師」の家に生まれたそうだ。「御師」といえば、世界遺産に指定された後、俄然注目を集めている。その辺の話も詳しく聞きたいものである。

８月２９日（木）晴・２２度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 29 日(木)07 時 06 分 52 秒

昨日は
８月度・富士山ウオーキング。コースは、山中湖・花の都公園～忍野八海～北口本宮・浅間神社～河口湖。天気は晴れ。参加は２３名。

花の都からファナック前を通過し、忍野八海に向かう。途中、例年のごとく「モロコシ」をゲット。朝どり・超太い・１本百円に大感激で、ワラワラ購入。販売者Wさんも大喜び。私は１０本、サービスで貰った。

八海は相変わらず中国系が多かった。ここから昔の峠道を辿り富士吉田市に下りて、北口本宮・浅間神社に向かう。昼食後、いつもの権禰宜さんに神社の説明を３０分ほど受ける。相変わらずサービス精神満点。
午後は、富士急のジェットコースターを見学しながら河口湖に向かう。コースターは、キャーキャー賑やか。

１４：３０河口湖着。昨日は爽やかな天気でイイ一日でした。

８月２８日（水）晴・涼

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 28 日(水)04 時 59 分 3 秒

編集済

先日の

虫鳴きですが、鳴き始めたら、とたんに涼しくなった。知っていた？？！！のだろうか。

昨日、「落花生」を収穫でした。甘くてサイコーに美味しいね。

逆にモロキュウリを食べたくて、スーパーで買って来たが、不味くてイヤになってしまった。

今日は、８月度・富士山ウオーキングです。やっと、「晴」です。

８月２７日（火）晴・２０度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 27 日(火)06 時 18 分 39 秒　　編集済

昨夜は
寒く、今朝は２０度だった。ということは、富士山では３８００×０．６度で約ー２２．８度だから雪が降った可能性はある。ただ、積もらないだけ。

三ッ峠は、案外花が良かった。逸品は、蓮華升麻はむろんのこと、甲斐風露が良かった。白山風露と思ったら、違った。花の先が尖っているのが特徴らしい。

ＨＰに主な花を纏めました。

８月２６日（月）晴・２２度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 26 日(月)05 時 32 分 30 秒

編集済

涼しくて楽だ！！

昨日は８月度・さわやかハイキングで三ッ峠でした。天気は雨～曇～晴。参加は１１名。

裾野出発時は雨。しかし、参加者の強い意志？で予定通り実施。ただ、籠坂峠を越えると小降りだった。

旧御坂峠下・清八林道から８：００出発。かなり蒸し暑かった。大幡八丁峠から縦走。上り下りが激しい。お目当ての「蓮華升麻（れんげしょうま)」は、やや遅かった。

結構、厳しい上りで頂上の開運山１０：４３着。この天気だが、やっぱり好きな御仁が４～５名。立って宴会をやっていた。
我々は三ッ峠山荘まで足を伸ばして昼食開始。雨っぽいので小屋の軒下を借りる。この小屋は、ＪＷＡＦ（労山）指定の山小屋で、その旨を伝えると快く応対してくれた。さすが！！！

昼食は例によって「焼き物大会」久しぶり参加のＳ氏が、「野菜入りの正しい焼きそば」を作ってくれた。ただ、この焼き物大会は、兎に角忙しく喧噪で、昼食を食べたか食べないのか分からないのが問題？？！！昼食後、飲みながら「永遠の０（ゼロ)」の話題から、ベン・ハーまでアカデミックな話題で盛り上がり、皆さんの真摯な生き方を垣間見えた。

やっぱり軒下を借りたいパーティーが来たので席を譲り下山。途中、お花畑を見学。金水引（きんみずひき）が良かった。
下山後、河口湖で６００－の入浴し帰った。ま、雨でしたが、それなりに収穫の山でした。

８月２５日（日）曇・２６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 25 日(日)04 時 18 分 2 秒　　編集済

先日
十里木上のパラボナ・アンテナを解体していました。更に上に新しいのが出来て不必要になったようです。下に二枚が新しいアンテナ。

今日は、８月度・さわやかハイキングで三ッ峠です。参加は１１名。

８月２４日（土）曇・２８度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 24 日(土)06 時 54 分 21 秒　　編集済

記録を探したら
植樹は２０００年夏だった。越前岳周辺で採取したブナの実から育てた１年ブナを植樹した。

２００７年に一回生育具合を調査した。今回比較してみたら、個体差はあるが、大きくはなっている。

だた、今回気が付いたが周りのツツジなどが元気よく放っておくとブナが埋没しそうだった。
今後、その辺をどうするか難しい。

２００７年との比較は下記に上げました。
http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/page153-4.html

８月２３日（金）晴・２７度　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 23 日(金)08 時 12 分 17 秒

昨日は
久しぶりに越前岳でブナ観察・調査・下刈りでした。越前岳西面のガレ地にブナを植樹したのは、２０００年ころ（再調査)。

実生から育てたブナを植樹した。約１３年経過したが。今回の調査で７本確認された。確か１０本あったはずだが、３本は不明。

一番大きかったのは、８３ｃｍ、小さいのは３８ｃｍ。約１３年でもなかなか大きくならないものだ。仔細は明日報告。

８月２２日（木）晴・２５度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 22 日(木)06 時 22 分 21 秒

編集済

いやはや

昨夕のカミナリ・雨は凄かった。近くの新幹線の掃車場に２回落ちたのではないか？？

カミナリといえば、過去怖い思いをした。２００２年だったか、５月に白馬～白馬鑓～鑓温泉～雪倉をやった。５月は寒気・暖気が微妙に交わる不安定な時期。

その時、白馬全体が「電界」状態で、持っていたスキーの先から火花が「ビビビ」と放電した。スキーを持っていた手が一瞬痺れたので、スキーを手放してしまった。そんな中、スキーを背負って歩いている輩がいて驚いた。

あと一回は飯豊だった。これは８月だったが、遠くで「ゴロゴロ」とやっていたかと思ったら、すごい速さでこちらに来て、アッという間にモーレツな雨・カミナリに見舞われた。

場所は飯豊山手前の稜線。小屋まで１００ｍほどだったが、カミナリは近くでガラガラド～ンと物凄い。体は雨でびしょ濡れ。全く生きた心地はなかった。以前、富士の方が巻機山で頭をカミナリが貫通してなくなった。その時はたいした荒天でなかったという。やっぱりカミナリは怖い。

写真は、M山さんのです。

８月２１日（水）晴・２８度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 21 日(水)06 時 53 分 46 秒　　編集済

先日の
虫鳴きですが、お待たせでした。昨夜、鳴いていました。しかし、昨夜は暑かったですね。

さて、山の記録だが、やっぱり３０年以上経過するとほとんど記憶がない。従って記録は正確・丁寧・多角度からの描写が望ましい。
折角の記録も大雑把で適当で一方的なものでは、後年第三者が読んだ場合、理解が難しい。といっても記録者は様々で、プロでないので限界はある。

本来、同山行を複数人が記録すれば、余すことなく、ある程度はカバーできる。かといって余り五月蠅いことを言うと、「勝手にしたら」になるから難しい。

また中には、「絶対書かない」輩もいる。ま、それはそれで仕方がない。記録はある意味、「自分自身のもの」だ。３０年経過して、己の足跡を鮮明に蘇えさせることが出来ればそれでイイでしょう。

写真は、ＫＨさんのものです。

８月２０日（火）晴・２６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 20 日(火)07 時 57 分 47 秒　　編集済

久しぶりに
昔の記録を見た。１９７９年１２月３０日～８０年０１月０１日の仙丈岳地蔵尾根～北沢峠～甲斐駒～黒戸尾根。

懐かしかった。私は３２歳！！、相棒は飯豊で亡くなったMで４６歳。何と３４年前の記録だ。そもそも仙丈岳地蔵尾根を知っている輩はいるか？？このころの冬は様々な所を上っている。

７６年＝弘法小屋尾根～白根三山～池山尾根
７８年＝釜無川源流～鋸～甲斐駒～黒戸尾根
７８年＝聖岳東尾根～聖～茶臼岳
７９年＝地蔵尾根～仙丈岳～甲斐駒～黒戸尾根
８０年＝鹿島槍（爺ヶ岳東尾根往復）
８１年＝遠見尾根～白岳（五竜敗退）
８２年＝遠見尾根～五竜岳往復

８３年＝栂池～白馬岳往復
８４年＝上高地～常念岳（往復）
８５年＝西穂岳往復
８６年＝中崎尾根～槍ヶ岳～飛騨沢
８７年＝涸沢岳西尾根～奥穂高岳往復
８８年＝七倉～北鎌尾根～槍～飛騨沢
８９年＝赤河原～甲斐駒～黒戸尾根
９０年＝早月尾根～剣岳（敗退）

だった。いや～、我ながらよく上ったものです！！

８月１９日（月）曇・２８度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 19 日(月)07 時 45 分 50 秒　　編集済

昨日の
朝・夕の話ですが、読者から「虫が鳴かなきゃダメ」の話がありました。確かに夜、虫が鳴くとグッと秋らしくなる。まだ全く聞かれないから秋ではない？？平均気温で決まるのだろうか？？早く虫よ鳴け～！！

今度は鹿の話です。塩見岳を２００ｍほど下ったガレ地に鹿の足跡と鹿道がしっかり出来ていた。標高約２８００ｍ！！でだ。（写真・上）
そして新蛇抜山先で更にビックリ。一面のバイケイソウの穂先の花が全て食べられていた。これでは花は堪らない。次代をどう残せばいいのか。

聞けば以前、鹿はバイケイソウは食べなかったらしい。確かに丹沢・檜洞丸のバイケイソウは健在。（だった？）しかし、最近は食べるようになった。

やっぱり対策は「鹿ピル」にかないか？？！！

８月１８日（日）晴・２５度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 18 日(日)06 時 19 分 31 秒　　編集済

さすがに
朝・夕は涼しさを感じるようになった。ただ、昼間はモーレツに暑く、思考回路はゼロだ。

ゼロと言えば、最近、百田尚樹著「永遠のゼロ」を読んだ。本屋大賞を受賞し２２０万部売れた本。
ゼロ戦にかかわる終戦直前の戦争状況を描いた作品。

サイコ―の面白く、かつ泣かされた。最終章はページがめくれないほどだった。最近、ＮＨＫの街頭インタビューで三分の一が終戦日を知らないのデータが出た。

私の父は戦争に行った。しかし、その話はほとんど聞いていない。
今回この本を読んで、戦争の状況を余りにも知らなすぎることを
痛感。
「温故知新」、もっと学ばなくてはを再認識。

８月１７日（土）晴・２４度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 17 日(土)06 時 48 分 20 秒

登山靴

はもっぱら革製だが、山でも時々見かける。写真・上は、ゴローの靴で注文で作ったそうだ。

足にピッタリで大変いいそうです。

写真・中、下は、人工革みたいな感じだった。
革登山靴をもっと履いてもらいたいですね。

８月１６日（金）晴・２６度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 16 日(金)08 時 36 分 47 秒

編集済

先日
芦安に行ったら「柳蘭（ヤナギラン)」が綺麗に咲いていました。
ただ、
以前あったところにないので、何故と聞いたら、柳蘭は荒れ地を好み、
土壌が安定化すると絶えてしまうとの話でした。

なかなか難しいものです。

８月１５日（木）晴・２５度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 15 日(木)07 時 53 分 36 秒

山の仲間
にブルーベリージャムをいただいた。砂糖を減らし出来るだけ自然の形でジャムにしてある。

酸っぱくて美味しい。
ヨーグルトに入れるとサイコーです。

８月１２日（月）晴・２６度　　返信・引用
編集済

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 12 日(月)09 時 44 分 52 秒

今回も

山小屋の楽しみはイッパイでした。ビアもイイですが、日本酒も美味しい。小屋では熱燗をしてくれるので有難い。

熊ノ平小屋では、「大雪渓」が出た。これは「白馬錦」とならぶ北信の美味しい酒だ。

美味しい酒とは、高い吟醸などではなく、サラッとした安い酒の事。濃厚で重い酒は美味くない。
仙丈小屋は、ズバリ「仙醸」。これもサラッとして、サッパリで美味しかった。いずれも５００－は有難い。
無論、燗もＯＫ。山小屋の一杯は山旅の楽しみの一つだ。

明日、明後日、日記休みます。

８月１１日（日）晴・２６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 11 日(日)04 時 47 分 1 秒　　編集済

しかし
今年の暑さは異常でですね。暑さに強い私ですが、いささか参ります。あげくのはて、昨日は葬儀。これまた暑かったです。

熊ノ平小屋で皆が騒いでいた。小屋のテラスで休んでいる２名は、昨年聖平小屋で交流した方という。今日は塩見小屋から来たらしい。

男性が覚えやすい方で皆が分かったらしい。私は分からなかった。聞いてみたら、その方達も分かったらしい。

広い山ですが、案外、知っている方に会うものです。その方達は翌日、三峰～間ノ～北岳～御池小屋までとのこと。翌日、早朝分かれました。

８月１０日（土）晴・２６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 10 日(土)05 時 39 分 41 秒　　編集済

日本

ＡＬＰＳで最も美しい花と言われる「高嶺ビランジ」。今回もたくさんの花を見たが、この花は別格だ。

しかし、「ビランジ」に何故か漢字がない。私が当て字で「高嶺美蘭児」としました。お許しください。（笑い）

もう少し大きな画面で見たいです。上げました。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/page153-4.html

８月９日（金）晴・２６度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 ８月 ９日(金)06 時 37 分８秒

編集済

縦走２日目
熊ノ平小屋を出て、三峰岳に上り、約７００ｍ下って野呂川越。ここから仙丈岳まで約７００ｍの上りが待っている。
何処かの学生さん二人と前後した。学生は今日は天気が悪いからといって高望池でテントを張った。ここには豊富な水がある。

池を出てすぐ伊那荒倉岳（２５１７ｍ）に達した。そこに彼がいた。会った瞬間、０．１～０．２秒は誰だか分からなかった。でも、何処かで会ったことはある。

１・２・３秒時間が過ぎ、「ああＮ君、久しぶり」とハグした。以前、富士山測候所勤務だったＮ君。測候所撤退と共に山を下り、現在は千葉で単身赴任。家は御殿場にある。家は一度お訪ねしたが、訓練用のボードがあった。

Ｎ君はボーダー。ボードで各地を滑りまくっている。山も凄くマッキンリーを上っている。まだ、５０歳半ば。これからだ。でも、こんなところで再会するとは。

Ｎ君は仙丈から下って来た。休暇は９日までといった。特に目的地はなく、気の向くまま、足の向くままといった。テントを背負い、一人で「山旅」。う～ん、イイね～。素晴らしい。ちょっと羨ましく思った次第です。

Ｎ君、今後とも頑張りましょう。

８月８日（木）晴・２６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 8 日(木)05 時 19 分 2 秒　　編集済

三伏峠

小屋で弁当を頼んだ。勿論、行動食は持っているが、やっぱり「米」を食べたい。弁当は１０００－。お稲荷さん２ヶ、おむすび２ヶ、それとオシンコ。味はイイ。ただ、これで１０００－はちょっと高いか？？

以前、白馬山荘の弁当を食べたが、あそこは良かった。槍沢小屋のは最悪だった。

結局、今回４日で弁当注文は１回のみ。各山小屋の弁当を比べるのも楽しみだ。

ちなみに、仙丈小屋は基本的にやってないそうだ。小屋番のMさんに聞いたら、「縦走をヤルくらいの人は自分で持って来なさい」だった。それを聞いて、ちょっと耳が痛かった・・・。

３枚目は、熊の平小屋の弁当。私は頼まなかったが、また、一味違うようだった。

８月７日（水）晴・２５度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 7 日(水)06 時 47 分 6 秒　　編集済

塩見岳～仙丈岳行って来ました。
ここは、いわゆる「仙塩尾根」と呼ばれる長大な尾根。昔は「せんえんおね」と呼んだが、最近は「せんしおおね」と呼んでいるようだ。
期間は８月３日（土）～６日（火）。天気は全体的にハッキリしなかった。参加は６名。

３日＝甲府駅前駐車場に車を置いて中央線で岡谷まで。
岡谷から飯田線で伊那大島駅まで２時間で１１時着。ジャンボタクシーで豊口山ゲートまで。ここから登山開始。三伏小屋泊。

４日＝早朝発。天気はイイ。最初の３０００m塩見に上る。ここは冬３回上っているが、余りの急登に「ホントかいな？」の感じ。
ここから熊ノ平小屋まで長かった・・・。

５日＝ガスの中出発。二つ目の３０００mの三峰岳は２９９９mだが、ケルンの高さ１mを加えると丁度３０００m。（笑い）
７００m下って、野呂川乗越から５時間で雨の仙丈岳に上る。途中で旧友のN君に会った。これで３０００mは３峰。仙丈小屋泊。思わぬサプライズで芦安のＳ氏差し入れの「生」をいただく。美味しかった。
御馳走様でした！！

小屋番のM氏はとても温かい応対で感心でした。
６日＝朝天気は良かったので仙丈岳に上り返す。ここでちょっとした「事件」が発生。頂上でモルゲンロートを楽しむ。朝食を済ませ下山。１０時のバスで甲府着。御坂温泉で汗を流す。
ここは１９７６年末～７７年始冬以来。今回は、夏だが、厳しい山かつイイ山でした。

８月１日（木）晴・２６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 8 月 1 日(木)06 時 01 分 15 秒　　編集済

北岳
の帰り、久しぶりに芦安のＳ君に会いに行った。Ｓ君は現在、芦安で「Ｓ工設」という工務店を子息と経営し、主に林道・山小屋関係の仕事を設計・施工している。

今回、北岳肩の小屋がトイレを新設中だったが、それもＳ工設が請け負い工事していた。Ｓ君との

付き合いは長い。彼は富士市の大昭和製紙に就職した。会社には山が好きだった先輩K氏がいた。

その後、K氏は沼津で「沼津山の会」を設立した。そのころ、私は山の会を探していて、ご縁があって山の会に入り、S君と付き合いが始まった。
彼とは年齢は確か？3つ違いくらいだが何故か気が合った。いや分からない。合わせて貰っていたかもしれない。兎に角、記録にある二人の初山行は、１９７１年4月3日～4日、毛無山南沢とある。

何と４２年前の話で殆ど記憶はないが退社後、身延線で下部に行き、２０：２０ビバークとある。翌日、ビバーク地発６：３０～毛無山１６：３０～バス停（何処？）１８：４５だった。

確かその時、バスがなく富士宮にいたKに迎えに来て貰った。その後主な山は、6月・甲斐駒黄蓮谷、8月・北鎌尾根～前穂、9月・前穂高Dフェース、１０月・北岳荷上げ、１１月・土樽～谷川岳縦走、１２月３０日～1月2日・北岳登頂、1月・阿弥陀岳北西稜と続いた。

しかしその後、彼は長男だったので芦安に帰った。従ってそれ以降の山は大したところはやっていない。ただ、何故か「腐れ縁」で現在まで付き合いは続いている。有難いことです。

明日から日記、しばらく休みます。

７月３１日（水）曇・２６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 31 日(水)06 時 06 分 33 秒　　編集済

韓国
のパーティーが中央ＡＬＰＳで遭難した。一昨日も北岳はモーレツな風雨だった。韓国パーティーも小屋に２０名くらい宿泊していた。

モーレツな風雨だったが、日本人登山者の中にはカッパを着ていない人・手袋がない人・ズックの人など、ちょっと考えられない方がいた。
昨年５月連休、八ッ・阿弥陀～赤岳～横岳を縦走した。横岳は１４時半くらい。硫黄方面からピッケルなしの韓国パーティー２０名くらいが、ワイワイガヤガヤ賑やかにやって来た。

これから横岳を縦走して天望荘に行くという。横岳の通過は人数が多いと時間が掛かる。時間との競争だ。皆、装備は新品で如何にも素人っぽい。何方かと言えば観光感覚。リーダーは一人で奮闘している。鎖場の下降は見ていられない。
時間が遅いから硫黄に戻るよう進言したが意に介さない。結局、何事もなかったようだが、あれで天気が悪かったら最悪だっただろう。

いずれにしても遭難があれば、皆さんに迷惑が掛かる。それは我々も同じこと。一昨日も北岳で３件の事故があったと聞いた。心して臨みたいものだ。

２０１２年５月２日の日記

・・・・横岳では１４：３０、やっぱりピッケルなしの韓国隊
２３名と会った。これから天望荘まで行くという。
ちょっとした下りで、ピッケルがないので、ザイルを固定して

後ろ向きで、一人ひとり降りている。

これから難しいところが出て来るコースで、果たして明るい
うちに小屋に着くだろうか？？昨年はこの先で滑落事故死が
起きている。
リ―ダ―？？、ガイド？？に聞いたが、ノンビリしたものだった。
参加者の女性も全く心配はなさそうな雰囲気。

ほとんどハイキング気分での雪山登山は、困ったものです。
そもそも登山計画書なるものを、提出しているかどうかも
不明です。
せめて、事前に計画書が出ていれば、ある程度チェックは
可能なのですが・・・。

７月３０日（火）曇・２５度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 30 日(火)08 時 28 分 1 秒

編集済

第一夏山合宿
北岳・間ノ岳速報　　参加＝後藤・浜道・掛橋

２８日（日）曇り
広河原発６：３６－北岳１２：１２－北岳山荘１３：１６
－間ノ岳ー北岳山荘１６：１０（泊）

２９日（月）雨
起床４：３０－朝食５：１０－山荘発５：４４－北岳６：４２－
広河原９：３２－バス１０：２０－芦安１１：２０－金山沢温泉
下土狩１６：００

北岳・間ノ岳、行って来ました。
２８日は曇り。２９日は雨。
日曜日入山で山は空いていると思いきや、全く関係
なかったです。

花は良かったです。特に草すべり付近はサイコーでした。
若い二人は、その日間ノ岳に往復でした。
私は小屋で少しブラビラして、途中出迎えました。

昨日は朝から雨。八本歯コースも考えたが中止。
北岳の上り返しは１時間掛からなかった。
往路を戻り、広河原には４時間掛からなかった。

予定外の１０時２０分のバスで帰着。芦安の金山沢温泉で汗を流した。下土狩には１６時前着。速い工程でスッキリした山でした。

７月２７日（土）晴・２６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 27 日(土)06 時 36 分 54 秒　　編集済

山中湖の
遊覧船「白鳥の湖号」は、案外楽しい。「白鳥」の名前だが、ここにはこの時期でも白鳥がいる。
これに乗るのは今回で３回目。
山中湖を一周するが、一周といっても完全に回るわけでなく中心部分を約３５分。今年は少雨で水が少なく、あまりアウトコースを回れない。
一昨年、リニュアールされ中は綺麗。中には軽食・コーヒーなども売っている。デッキの椅子は固定されていて、一瞬引こうとして戸惑ったり・・・。

大きな船で三分割して組み立てたそうだ。白鳥の首の先端も人が入れるようになっていた。
というのは、眼がランプになっていて、夜光る。時々、切れて交換のため中を上っていくそうだ。
船長はフレンドリーでサービス満点。湖上には、ＫＡＢＡちゃんや水上スキーが行き交う。
水上スキーが目の前でコケルと歓声が上がる。

料金は９００－だが、１５名以上は一割引きで８１０－。随分半端で会計さん泣かせ。湖上に富士山が見えれば、言うことなしでサイコ―だが、今回は駄目でした。

日記、明日から２～３日休みます。

７月２６日（晴）・２５度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 26 日(金)06 時 02 分 28 秒　　編集済

山中湖の鯉は凄い。
山中湖には鯉が沢山いる。特に観光客が集まる遊覧船桟橋周辺は多い。何故多いか？？観光客が餌をくれるから。
餌は１００－。自動販売機で売っている。遊覧船に乗る時、時間があるので観光客が餌をやる。
物凄い数の鯉が押し合い圧し合い、我も我もと集まる。

よく見ると鯉が鯉の上に乗っかって前に来る。口をパクパク開けて集まるその様は、まるで阿修羅のごとくである。
オバさんが、「何か可愛くない・・・」だったが、ま、生存競争が激しいんだね～・・・。(笑い)

７月２５日（晴）・２３度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 25 日(木)05 時 44 分 22 秒

編集済

昨夜は

涼しく、有難かったです。

昨日は、第３回・富士山ウオーキング。コースは、須走・浅間神社～籠坂峠～東大演習林～山中湖～花の都公園。天気は曇～雨。参加は２５名。
須走・浅間神社から出発。天気は曇り。涼しくてイイ。籠坂峠は、思ったより楽。１時間半で抜ける。東大演習林を通過し、山中湖村役場着。時間が早いので山中湖の山中桟橋無料駐車場まで足を伸ばす。

ここで山中湖遊覧だが当初、旭が丘から乗船予定だったが、山中桟橋からも利用できるので、ここで乗った。しかも、昼食を芝生が広がる旭が丘で摂りたかったので、一周し
て更に旭が丘まで行けるかと聞けば無料でＯＫ。なかなか、サービスが良かった。ただ乗船して、しばらくで雨になって結局、多くの方は船で昼食をいただいた。船は新しく綺麗。船窓から流れる風景を見ながらのランチは案外、ヨカッタ。

午後は、山中浅間神社・山中諏訪神社を見学し、山中湖を源流とする桂川に沿って、花の都公園着。園前に広がる百日草が見事だった。ただ、この日も富士山は一度も顔を出さず残念。次回のお楽しみとなりました。

７月２４日（水）晴・２６度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 24 日(水)04 時 45 分 2 秒　　編集済

富士山
で下山時、会った元気なお姉さんたち。聞けば、須山から来たという。

会ったところは、標高約１９００m。今日は新六合で泊まるという。若い方にしては殊勝なことだ。ただ、新六合の標高は約２５００mだから、あと標高差約６００m。会った時間は１３：３４。素人だから標高差６００mは３H掛かるだろう。

時間的にはギリギリだが、幸い天気は良かった。ま、皆さん、明日も頑張って下さい。

７月２３日（火）晴・２５度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 23 日(火)06 時 21 分 3 秒

編集済

２１日の続き
ま、詳細は今後にきめるでしょうが、

１．については「経験」を入れるべき。いくら「知識」「装備」が完璧でも、「経験」が無ければ話にならない。
ある意味「経験」が豊かなら、「知識」「装備」は心配ない。どの程度の「経験」か把握すべき。
また、「装備」など、いつ・どこで・だれがチェックするのか？チェックしなければ「絵にかいたモチ」になる。

２．これは当たり前。ただ、方法は？現地提出なのか、郵送なのか、はたまたメールでＯＫなのか。

３．は案外難しい。私も何回か経験しているが、大など本当に大変。小は経験的にペットボトルがイイ。しかも何回も使

える。難しいのは女性。言うのは簡単だがなかなか実行は難しい。

こうしてみると、本当に出来るのかです。まずは出来ることから取り組むべきと思いますが。

７月２２日（月）晴・２５度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 22 日(月)06 時 54 分 14 秒

Ｓさま
ご投稿、有難うございます。お元気そうで、何よりですね。

昨日は７月度・さわやかハイキングで、高鉢～宝永山２３５２ｍ峰～第１火口分岐～２３６２ｍ峰～御殿庭～二ッ塚～御殿場二合でした。天気は曇り（涼しい！！）。参加は２５名。

バスは高鉢広場に入れた。雨上がりのオゾンたっぷりの道を行く。木漏れ日が美しい。バイケイソウが沢山咲いていた。この花はちょっと異臭がする。そのためか？？鹿は食べないようだ。

１名不調なので付き添って御殿庭に下る。皆にはそのまま行ってもらった。不調の原因は、１・夜更かし　２・朝食抜き　３・運動不足だった。

御殿庭から２３５２ｍ峰に上り返す。昨日は歩荷で１５Ｋｇだったので、やや足応えがあった。２３５２ｍ峰で皆と合流。皆は第１火口分岐まで行った。
御殿庭で昼食。焼き物大会で私の畑の巨大ピーマン・イワシ・シシャモ・イカ・鳥の？？肉・揚げ物などをガンガン焼く。イワシの煙が凄く、「御殿庭が噴火か？？」のジョークが出た。

午後は御殿場二合目までルンルン道。風が実に爽やか。ちょっと物足りない？？で元気者が９名二ッ塚に上る。ゼイゼイハーハー、昨日一番の登山だった。

下山後は「御胎内温泉」で癒し。何故か空いていてよかった。生を２杯やってしまいました。（笑い）皆さんの感想は、「このルートは隠れた好ルート」でした。

Re: ７月２０日（土）晴・２２度 返信・引用

投稿者：**鈴木@下田市** 投稿日：2013 年 7 月 22 日(月)01 時 22 分 4 秒

> No.2109[元記事へ]

たかチャンさんへのお返事です。

なるほど、信用あるお店に置いてあれば、疑いなく買ってしまいますものね。
すべてを疑うのはつらいことですが、家に持ち帰ったら、間を置かずチェックするのがいいですね。
勉強になりました。

７月２１日（日）晴・暑 返信・引用

投稿者：**たかチャン** 投稿日：2013 年 7 月 21 日(日)04 時 30 分 15 秒 編集済

先日の

新聞に「富士登山、夏以外は原則禁止」があった。

・・・「万全な装備がなければ原則登山禁止」だそうだ。
夏山以外について、

１．十分な知識や装備、万全な準備なしでの登山禁止。
２．登山計画書を必ず提出する。
３．山小屋のトイレが使えないので、携帯トイレを持参し、持ち帰る。

などがポイント。

今日は、富士山・宝永山なので以下は明日。

７月２０日（土）晴・２２度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 20 日(土)05 時 26 分 9 秒　　編集済

昨日の

「ＦＡＳＴ－１１５カーボン」ストックに実は「オチ」があった。「オチ」と言うより「落とし穴」？？
ストックをマジマジと見ていたら何かオカシイ。何がオカシイかといったら、

１．バンドが短い
２．何となく長さが短い
３．色が派手

で、メーカーの「株式会社シナノ」のお客様相談室に電話をした。結果は驚くべきことに全く同じ、材質・価格で色が黒、全長が長い（重量は＋１０ｇ）ＦＡＳＴ－１２５カーボンがあった。そしてこちらが男性用という。
では、購入したものは何？？だったが、ネットとタグには何も明記してないが、シラトリのカタログには「女性向き」となっていた。
・・・・最終的には別のＨＰで「レディース向けモデル」とあった。

結局、今回の問題は、

１．店の勉強不足」・・・・・・・店頭に置いてあるストックは特に
　　男性用、女性用と分けて置いてな
　　い。そもそも店がそれを知らなかった。
２．「メーカー標記に配慮なし」・・・・カタログとＨＰは「レディース向け
　　モデル」だが、タグに何も書いてない。
　　これではお客は何も分からない。

３．私自身ストックに「男・女」あるのを知らなかった。（とほほ）

最終的にメーカー・店とも好意的に応対してくれ、浜松店に在庫があり至急送ってくれる手当てをしてくれた。

今回問題は、ささいな「疑問」から始まった事だが、事実を知らず使ってしまったら取り返しがつかない所だった。（事実、マジックで名前を記入しようとした・・・・）
クレーマー・クレーマーでないが、現代は何事も？？？で対応しないと
駄目と改めてよく分かった次第です。

ＰＳ　今朝は、２２度と超快適です。山みたい！！

７月１９日（金）晴・２５度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 19 日(金)05 時 25 分 57 秒　　編集済

ストック
とうとうと言うべきか、いよいよと言うべきか、ストックを購入した。

ストック、シラトリで購入です。「ＳＩＮＡＮＯ」製です。佐久市のメーカーです。価格は、１６８００－の一割引きです。（ネットでは、１４９８０－）店頭品で一番高価だった。購入ポイントは、

１．ＳＧマークがある・・・・・外国製を含め殆どない。
先日、登山時報でＨ氏のストック折れ破損があったが、ＳＧマークのものを勧めていた。

２．最軽量・・・・・・・・・・カーボン製。店頭品で一番軽量で一本２００ｇ。
レキなど外国製は重かった。ま、が体大きい外人では当然か。

３．外締め・・・・・・・・・・ポールの固定ストッパーのこと。レキは二ヶ所外締めですが重い。出来ればストッパーは内締めでなく外締めがイイ。内締めは、何かとトラブルが多い。
これは使用後の手入れの問題もあって、使用後は必ずバラして、乾燥させて置くのが良い。

４．ストレートグリップ・・・・上りのみ使用の私はこれがイイ。下りでも使う方は、Ｔ字型が良いようだ。

５．バンドがシンプル・・・・・バンドが大げさなものは使い難い。

以上ですが、
今週、日曜日富士山で使ってみま～す！！

７月１８日（木）曇・２３度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 18 日(木)06 時 56 分 26 秒

編集済

昨日の話題は

何といっても「清く　正しく　美しく」でしょう。現在の日本で最も忘れられた言葉であるが、出来そうで出来ないことである。
最も言葉の奥が深いから、分かったような、分からないような部分はある。同じような言葉に「名もなく　貧しく　美しく」もある。「清貧」・・・これも同じように忘れられた言葉だろう。

「清く　正しく　美しく」を置き換えれば、「濁りなく　規則を守り　格好よく」だろうか。

山的には、「環境に配慮し　規則を守り　自然に優しく」か。いずれにしても、皆でやっていかなければならないこと。要はそのような心構えを持つことが大切なことでしょうね。

７月１７日（水）雨・２２度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 17 日(水)06 時 57 分 50 秒

編集済

う～ん、涼しくて有難い！！

先日の伊豆巡礼で最後の寺は、長岡江間の北條寺。昔は、宝城寺だったという。
住職は、渡辺文浩（ぶんこう）氏。今回も一緒にお勤めしていただいた。氏は元教師で話は上手。
時間通り話てくれるので有難い。

最近、少し耳が遠くなったので、大声で話すほうがいい。巡礼でここを訪れるのは四回目だが、奥様も温かく接していただく。これまた、有難いことです。

7月１６日（火）晴・２５度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 16 日(火)06 時 00 分 58 秒

編集済

この時期

山梨に行ったら「モモ」でしょう。
そして販売店の購入でなく、直接農家から畑で譲って
貰うのが楽しみ。

先日も御坂を下って行くと朝取りをやっている。
どのタイミングで頼むかは相手を見て判断する。
これは長年の勘だ。

しばし走り塩山の畑にオバサンがいた。
急停車しキレイどころに早速交渉してもらう。
この場合男は無用。すぐ帰ってくれば駄目。
話し込んでいればＯＫだ。

バックミラーを覗いているとイイ雰囲気だ。皆で降りて行く。箱に赤い綺麗なモモが並んでいた。
やや小ぶりのがＯＫのようだ。

結局、２６個＋５個をゲットした。価格は全部で２５００－。最初２６個で２６００－払ったら、１００－は返して来た。そしてこれから乾徳山登山を告げたら、さらに５個くれた。

今、スーパーでは大玉が２個で６００－くらい。今回は小ぶりだから、１００－は妥当だろう。その辺の無人販売も大体１００－だ。ただ、朝取りは新鮮で美味しい。

山には各自１個ずつ持って行き、昼食後にいただいた。ほどほどの甘味でサッパリと美味しかった。山旅はこれだから楽しい。
有難や有難や。皆さんに、感謝・多謝・深謝ですね。

７月１５日（月）晴・２４度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 15 日(月)06 時 59 分 25 秒

昨日は

乾徳山登山。天気は晴れ。参加は５名。
下の駐車場は満杯で結局、登山口最近の場所にやっと駐車。

７：２６発。今日は夏山訓練で皆さん重荷で来た。上りやすい道をグングン上る。例によって２０名ほど追い抜く。途中の錦晶水が美味かった。が、周りを鹿がウロウロでちょっと・・・。

全員、ヘルメットを被り気合いで岩場を上る。初見参の皆さん、ワ～ワ～キャーキャーで楽しそう。頂上直下の壁も問題なく上った。

頂上は満杯なので北のピークで昼食。朝、ゲットした桃が美味しかった。水のタルから急下降で国師ヶ原下着。再び錦晶水で休憩。

下りやすい道をサッサッと下りて１３：２９駐車場着。
温泉は、ももの里温泉でした。

7月１４日（日）晴・２６度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 14 日(日)03 時 03 分 59 秒

今日は

乾徳山で夏山訓練です。

７月１３日（土）晴・２５度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 13 日(土)05 時 23 分 44 秒

巡礼で
大仁・神島橋に来たら向こうから大型の一輪車がやって来た。子供が使う小型でなく、かなりの大型。

聞けば何と長泉の方で、サイクルスポーツセンターまで行って来たという。Ｋさんの話では、桜堤の方で時々、見るという。長い棒を持っていたので何？と正したら、信号などで止まった時、支えにするという。

普通の自転車の後輪のラチェットがないので、長い下り
は大変という。
輸入品で価格は７～８万だそうだ。

いずれにしても、ご苦労様でした。

７月１２日（金）晴・２５度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 12 日(金)06 時 40 分 34 秒

編集済

伊豆巡礼

昨日は７月度・伊豆巡礼でした。
コースは、８番・益山寺～９番・澄楽寺～１０番・蔵春院
～１１番・長源寺～１２番・長温寺～１３番・北條寺。
天気は晴れ、超猛暑。参加は３１名。

朝一番で益山寺に上る。既に汗だく。
下れば狩野川堤防は涼しい。ただ、大仁に入ると再びモ
ーレツな熱気。

澄楽寺で氷入りの美味しい水をいただく。蔵春院の境内
の水道は温くて参った。長源寺の峠越えは厳しい。でも、
本堂の午睡はいつものように気持ちが良かった。寺のお
母さんは二年振りだが、元気イッパイだった。

長温寺を経て北條寺へ。渡辺住職とお勤め。お話も聞く。
作った本を５冊置かせてもらったが４冊売れていた。

とにかく昨日は超暑い一日でした。皆さんよく頑張り
ました。

７月１１日（木）晴・２８度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 10 日(水)18 時 04 分 42 秒

編集済

今年

も「マクワウリ」が出来ました。
この時期、やっぱり「マクワウリ」でしょう。

ただ、これを作っている方は少ない。
我が畑は全部で３０区画くらいあるが、作っているのは
私だけ。

作るのはイイがツルが伸びるので若干面積が必要。
私的には、現在の「メロン」より、こちらの方が甘すぎ
ずよっぽど好きですが・・・。
ただの郷愁でしょうか？？！！

（この日記は、１０日に書きました）

７月１０日（水）晴・２５度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 10 日(水)06 時 21 分 13 秒

編集済

静岡こまくさ会

権現岳を下ったところで、「静岡こまくさ会」の方々２０名ほどに会った。

先に下ってくれでしたが、それ程遅くないのでしばらく一緒に歩いた。
ところが、最後尾の女性といろいろ話したら、元藤枝山登歩（やまとんぼ）の会員で、労山の事情に詳しかった。

北海道出身でスキーもヤルで結局、私とかＫのことをＨＰで見たり良く知っていた。

三ッ頭のちょっとした上りで、「行け～」とか「頑張れ」などの「気合い」が入ったのには驚いた。昔の山岳部などよくあったシーンだったが、聞けば何とパーティーに「８０歳台」の方が１名いて、７０台も数名いるとのことだった。

権現岳は標高差が１０００ｍ以上あり上部は鎖場が続き、決して易しい山ではない。今朝は藤枝をマイカーで４時に出てきたという。ま、ペースは我々より確かに遅いが、そのファイトたるや頭が下がる思いだった。

７０前の私などまだまだ「洟垂れ小僧」。もうちょっと頑張るかと思った次第です。ただ、そのためには、やっぱり「イイ仲間」が必要ですが・・・。

７月９日（火）晴・２８度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 9 日(火)08 時 31 分 11 秒

山ガール

最近、確かにいわゆる「山ガール」が元気だ。勿論、ハイカーも多いが、元気者は「単独・テン泊・縦走」なんて当たり前。

テン泊する方は、ある程度の経験者かもしれない。小屋の窮屈さを知っているのだろうか。

何がそうさせるのか、この現象はただのブームか、何故女性なのか・・・・は、よく分からない。

ただ、大昔はそれはなかったことはハッキリしている。女性が経済的にも自立し、情報も豊かになって、体力もある。そして、男に頼らなくても登山が可能になった？？！！

いずれにしても、昔あったつまらない事件等がないことを願わずにいられない。

７月８日（月）晴・２８度

返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 8 日(月)09 時 41 分 50 秒

編集済

昨日

昨日は八ッ・権現岳（２７１５ｍ）でした。コースは観音平～権現小屋～権現岳～三ッ頭～ヘリポート～観音岳。天気は下部晴・上部霧強風。参加は４名。

梅雨が明けて？富士山はスッキリだったが、八ッは霧の中。編笠を巻いて青年小屋着。たしかここの主人？はエベレストに上っている。また、女子が一人で大きな荷物で下って来る。逞しいね！！

青年小屋から上は完全に霧の中で左から風も強い。思わずカッパを着た。岩場の苦しい登山だったが、かわりに花は大いに良かった。岩弁慶・深山苧環・黒百合・深山塩竈などなど。

濃霧・強風なので小屋で昼食。ここの管理人はイイ方だった。昼食後、再び権現に上り下山。ここで以前、さわやかハイクに出入りしていた方二名に会う。ま、最近全く音沙汰はなかったが・・・。

ここで「静岡こまくさ会」２０名に会った。元気がイイ。三ッ頭からの尾根は優しい尾根だった。上った尾根は岩ゴロゴロで嫌な尾根。

観音平にはいい時間に到着。小淵沢の「延命の湯」に入って帰った。

７月７日（日）晴・２８度　　返信・引用

投稿者：**たかチャン**　投稿日：2013 年 7 月 7 日(日)03 時 46 分 34 秒

エイ

先日、仁科港であまりみかけない物が泳いでいた。
皆で大騒ぎ。

よくみたら「エイ」だった。
伊豆の海にも「エイ」の仲間は多いようだ。

調べたらこの時期、産卵で岸に寄ってくるという。
ちなみに「マンタ」も「エイ」の仲間。
「マンタ」は、スペイン語で「外套（マント？）」だ
そうです。
写真は、Ｋさんが撮影しました。